銀河戦国群雄伝 19
ライ
真鍋譲治
Dengeki Comics EX
DC EX
銀河戦国群雄伝ライ
19
真鍋譲治
DE-5-19
発行
メディアワークス
発売
主婦の友社

9784073105749

1920979009301

ISBN4-07-310574-4

C0979 ¥930E

発行●メディアワークス　発売●主婦の友社　定価：本体930円 ※消費税が別に加算されます

DENGEKI COMICS EX

フォーチュン・クエスト①②
迎 夏生COMIC 深沢美潮STORY

央華封神①②
栗橋伸祐 原案友野 詳

MADARA赤LASA①～③
田島昭宇

MADARA壱①～④
田島昭宇

MADARA転生編
田島昭宇with MADARA PROJECT

MADARA外伝
死海のギルガメシュ
花津美子with MADARA PROJECT

MADARA影
高橋 明with MADARA PROJECT

聖痕のジョカ①～⑤
大塚英志原作 相川 有作画

銀河戦国群雄伝ライ①～⑲
真鍋譲治

緋翔伝幾千の月のかけら①～⑥
夢来鳥ねむ

魔狼王烈風伝①～⑦
沢田 翔

女神天国新女神誕生編
宮須弥

ネコた～ぼ16V①
そうま竜也

Nocturne～夜想曲～①②
栗橋伸祐

ガンドライバー①～④
ビトウ ゴウ原作
せたのりやす作画

リスティス①②
うたたねひろゆき

最終機攻兵メタルスレイダー
グローリーエイミアの面影①
☆よしみる

極道くん漫遊記①②
桐嶋たける
中村うさぎ原案

JAJA姫武遊伝①
中村うさぎ原作 衣谷 遊作画

レジェンド・オブ・クリスタニア①～③
はじまりの冒険者たち
姫川 明with HIURI PRO
水野 良原案

テレビアニメ版
神秘の世界エルハザード①～⑤

魔獣水滸伝KIZNA①②
ビトウ ゴウ原作
夏野すいか作画

太陽の少女インカちゃん①②
小野敏洋

誕生～Debut
蘭宮 涼

メルクリウスプリティ①
西野 司

ドラゴンナイト4①②
雷樫

がんばれ!プリンセスちゃん
ひぐちきみこ

もっとがんばれ!プリンセスちゃん
ひぐちきみこ

流星雀士キララ☆スター
高雄右京

月極はっぴぃあばーとめんと
思い当たる

ほにゃほにゃれでぃGOGO!
ぶるまほげろー

電撃ガオガイガー
竹田裕一郎、大森 葵ほか

仙木の果実
八房龍之助

『お嬢様特急』SDキャラコミック
お嬢様電車
森田屋すひろ

GUNばれ!ゲーム天国①
そうま竜也

RAI

BY JOJI MANABE

19

銀河戦国群雄伝

• ARTIST
JOJI MANABE

• EDITOR
JUN-ICHIRO SATOH
ANRI KOMATSU

• BOOK DESIGN
TETSUYA ASAKURA

• SPECIAL THANKS TO
MASAHIKO YAMASHITA
YOSHIKI MORISHITA
HIRONORI NAGAI

戦国の銀河を生き抜く群雄たち

「竜我雷」りゅうがらい

本編の主人公。その度胸と悪運の強さを狼刃に買われて一兵卒より師団長に抜擢され、五丈軍先鋒として南天に雪崩込む。南天軍の前線を突破するや、大暴れして要衝・座王都に一番乗りを果たし、その勇名は敵味方に響き渡る。その後も、数々の戦功により、昇進に昇進を重ね、骸羅のクーデター時には、その地で希代の大守に収まっていた。初めて地盤を得た雷は、また、皇室の天才、師真を軍師として迎え、娘紫紋を妻に娶ると、すぐさま中央に反旗を翻し、挙兵する。圧倒的に不利な状況の中、死闘を展開、ついに金州海にて、恩師狼刃を涙をふるって倒した。その余勢を駆って、偽帝骸羅をも打ち倒し、全五丈を平らげる。西羌王ら反竜我派の反乱を鎮圧する中、五丈王に即位し、尊号を竜王と称する。雷は、軍師・師真の戦力集中による各個撃破の策を取り、まずは開彭沖にて正宗軍と激突、最後には単艦同士での一騎打ちにより、ついに宿敵正宗を倒した。雷は返す刀で南天軍先鋒を急襲、南天軍主力を六紋海におびき寄せるのに成功、ついに銀河に竜虎の名を轟かす両雄、雷と羅候の決戦の火蓋が切って落とされた。

「紫紋」しもん

敗将阿曹主禅の一人娘。皇室の血を引く唯一人の女性故に、辛い運命に弄ばれる悲劇の女である。父親を雷に殺された後、五丈に身柄を引き渡され、恩賞として仇でもある雷の許に預けられた。だが、雷とはそれを乗り越え、

「大覚屋師真」だいがくやしいん

南京楼の豪商大覚屋の放蕩息子。普段は酒色に溺れて良だ評判が悪い。だが、その知謀たるや史書、経書から兵法、天文、医学に精通した天才的な戦略家である。並みいる諸侯からの度重なる招きをすべて固辞し、時を待つが、紫紋に横恋慕したことによる縁で雷に出会う。以来その才覚を余すことなく発揮、雷の覇業の最大の立て役者となる。六紋海の戦いでは、雄大な戦略を立て、敵軍師姜子昌との決戦に挑む。

深い愛情を寄せ合うことになる。正妻となってからは、戦場に赴く雷を陰日向に支えていく気丈な娘である。

麗羅 れいら

雷の主君であった比紀弾正の娘。強大な権力の後ろ盾とその勝ち気な性格で、我がまま し放題である。雷には初めて会った時から興味を持ち、雷との絡みでは紫紋とよく対立し、反乱の罪を被せて紫紋を殺そうとしたこともあった。弾正の死後、一時は国政を乗っ取るが、骸羅に国を追われ、またまた雷の許に転がり込む。

雲海入道 うんかいにゅうどう

雷の兵卒時代からの戦友。かつては高僧にも仕える身分であったが、大酒飲みが仇で宗門を追われた破戒坊主。だが、雷にとっては最も頼りになる豪傑である。終始、雷とは戦場を共にし、また、雷の密命を帯び、暴政下の武王都より麗羅を救出、無事雷の許に送り届けた。六紋海の決戦においては一群を率いて奮戦し、雷を守る。

孟閣 もうかく

冷静で勇猛な剛将で、南征以後、常に副官として、経験不足の雷を適切に補佐する。歴戦の強者であり、その豊富な戦歴に裏打ちされた知識と経験を基に、よく雷を助け、軍事部門の責任者として、その覇業に重きをなす。六紋海の戦いでは、息子の孟起と共に雷の身を案じ、奮戦する。

三楽斎 さんらくさい

五丈の尚書令。師真に次ぐ、実質、五丈家臣団ナンバー2である。極めて有能な能吏派軍人であり、弁舌の才を持って雷を補佐し、外交、内政面においてその優れた才能を、遺憾無く発揮する。

鐘士元 しょうしげん

五丈軍の勇将。雷の師団長以来の宿将で、その勇猛果敢さで、常に先鋒を受け持ったが、師真のような新参者とは反りが合わず、対立した。だが次第にその知謀を認め、その指揮下に入り活躍する。

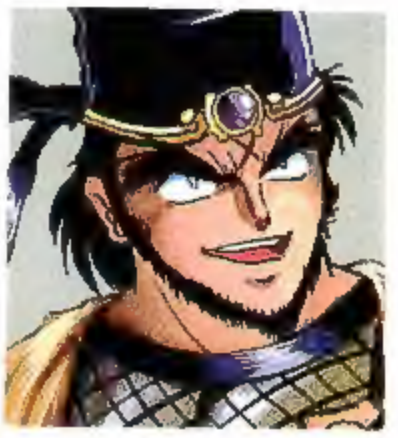
姚文 ようぶん

五丈軍の勇将。鐘士元らと共に雷の股肱の臣である。やはり師真とは合わなかったが、その命には良く服し、戦功を重ね、雷の覇業の一翼をなす。よく書

をし、武勇一辺倒ではない男でもある。

【項武】こうぶ

雷の旗揚げ時からの宿将であった項焉の息子で、八十斤はあろう大斧を片手で軽く振り回す豪傑である。その武勇を買われ常に先鋒を任される。六紋海では、星海に散った項焉の仇を討つべく奮戦する。



【林則嘉】りんそくか

五丈軍の謀臣。若い頃は風采も上がらず誰にも相手にされなかったが、南京楼城内に出入りしている間に師真に見出され、雷輔翼の人物として師真と双璧をなすようになる。天才肌の師真に対して、地味ながら、その誠実さをもって数々の献策をし、雷の覇業を助ける。特に金州海の戦いにおいて、焦る雷を勇気を持って諫めたことは、その後の雷の成長を考えると特筆に値する。

【如海】じょかい

東河の七賢人と呼ばれた処士の一人。田舎において晴耕雨読の生活を送っていたが、五丈を平定した雷により、三顧の礼を持って迎えられ、幕下に入る。

【孟起】もうき

孟閣の息子で五丈軍の第二世代を代表する青年武将。六紋海の戦いでは、遊軍を率いて八面六臂の活躍をする。

【装伯】そうはく

造船総監装民の甥。五丈軍の技術者の要の一人であり、装民の作った巨砲を自走砲艦として生まれ変わらせた。

【呂朱】りょしゅ

五丈軍の中堅武将。雷の掌兵に応じ、骸羅派の大守を殺して雷の許に馳せ参じた功により、奮威将軍に進んだ。

【鍾才】しょうさい

郡役所の下級官吏から鎮南将軍にまで登り詰めた苦労人。六紋海の戦いでは、後方遮断の任を任される。

【大覚屋英真】だいがくやえいしん

師真の弟で豪商大覚屋を擁しての南京楼産業界の若きリーダーである。その立場から雷の良き経済アドバイザーとして活躍、骸羅暴政後の五丈経済再建に

大きく貢献するが、長引く戦乱に民が疲弊しきっていることを悟り、早期講和の道を模索し始める。

【羅候】らこう

南天王。父羅鶴の死後、兵権を引き継ぐ。当初は南天の大国、智に従属していたが、徐々にその勢力を広げ、南蛮国王女、邑峻を娶り、その地盤を強固なものにする。正宗の北伐時には、隙を突き南帝閣を占拠、虎丸を智王に立て、正宗を失脚させる。南蛮王の死去後、その王位も継ぎ、練・南蛮二国の盟主となり、南天に揺るぎない地位を築く。その後、正宗が復権するや、素早く智領土の併合を謀り、正宗と智王を遥か領土外に追いやる。天下統一の最後の障害である五丈に矛先を向け、空前の大軍団で五丈領土に雪崩込む。

【姜子昌】きょうししょう

練国きっての名将。羅候の竹馬の友である。若くして、練軍の大都督に就き、羅候を補佐し、練国の発展に尽力する。正宗による銀河統一を阻止するべく画策、幼王虎丸を立てて正宗を失脚に追い込む。だが、誰よりも正宗の恐ろしさを知っており、その警戒を怠らなかった。この度の北伐では、総大将に就任、師真と対決する。

【蹄虎】ていほう

練の若き武将。知勇に秀で、姜子昌の右腕として、羅候を助け奮闘する。戦功だけでなく、南蛮や正宗の許に使者として遣わされ、首尾良く務めを果たすところなどは、彼の非凡な才能を示している。

【龍緒】りゅうしょ

夏候猷と共に、琥瑛罵洲、羅候の二君に仕えた老臣。実質的には練の宰相職にあり、法令、兵法、いずれにも造詣が深く、北伐にも帯同はしているものの、数多い将官の中にあっては、慎重派である。

【邑峻】ゆうしゅん

南蛮王琥瑛罵洲の一人娘。羅候とは許婚の仲である。南蛮王国との連携を強めるために、羅候の許に輿入れ、百人もの女兵士を従えるなど相当なじゃじゃ馬ではあるが、意外にも花嫁修行には熱心だった。とにかく羅候が好きで好きでたまらないという感じで、それ故に城内を餃子だらけにしてしまうなどいろんな騒動も起こす。羅候の本格的な北伐にも同行し、身重の身体でありながら、大鉈を振り回しての大奮闘である。

【神楽】かぐら

南天国の女武将。白象戦車隊を駆り、八十斤の鎖鉄槌を振り回す猛者である。勝ち気な性

格故、姜子昌と対立するが、彼にはほのかな恋心を抱く。初陣で項武軍を粉砕するが、師真の策に敗れる。

【智王】ちおう

幼名虎丸。正宗の実弟。幼い頃、練に送られ、羅候と義兄弟の契りを結ぶ。その後、智と練とが対立すると羅候の許を脱出、国を追われ、遠く戎の地で亡命政府を立てる。正宗の存命中は、巻き返しを図って、活発に軍事行動を起こすが、その死後は国力が衰退。五丈の圧力を受けやがて国土を併合され、雷より自害を強要される。

【飛竜】ひりゅう

正宗の腹心。練の大都督、姜子昌とは同門の仲でもあった。正宗の右腕として粉骨砕身、働いてきたがその死後は冷遇され、閑職に追いやられる。それでも正宗の遺言を守り、崩壊していく智を懸命に支えていくが、弱った国力は五丈軍を呼び込む形となり、ついに智が滅びた時に姿を消す。

【華玉】かぎょく

玄偉の腹心。李張道師の高弟で、その秘められた力で玄偉の暗躍を助ける。偽帝討伐時には師真と功を争うが、寸でのところで破れる。その後も刺客の梨扇を雷の身辺に配するなど、雷の天下取りに楔を打ち込もうとするが、師真らに阻まれる。

【梨扇】りせん

華玉の部下の女間者。雷の南京楼赴任中、奥女中として潜入。紫紋付きの女官となり、雷暗殺の機会を窺う。

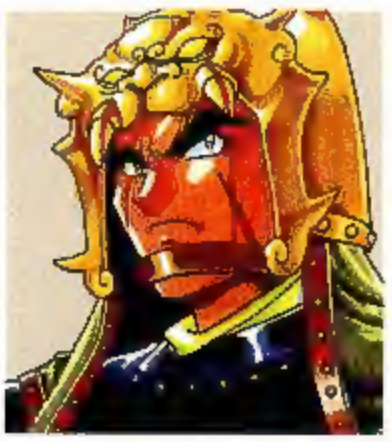
【李張】りちょう

弾正の元軍師。その弟子には華玉、骸延など知謀の士が多い。銀河の覇者の出現を予見している。

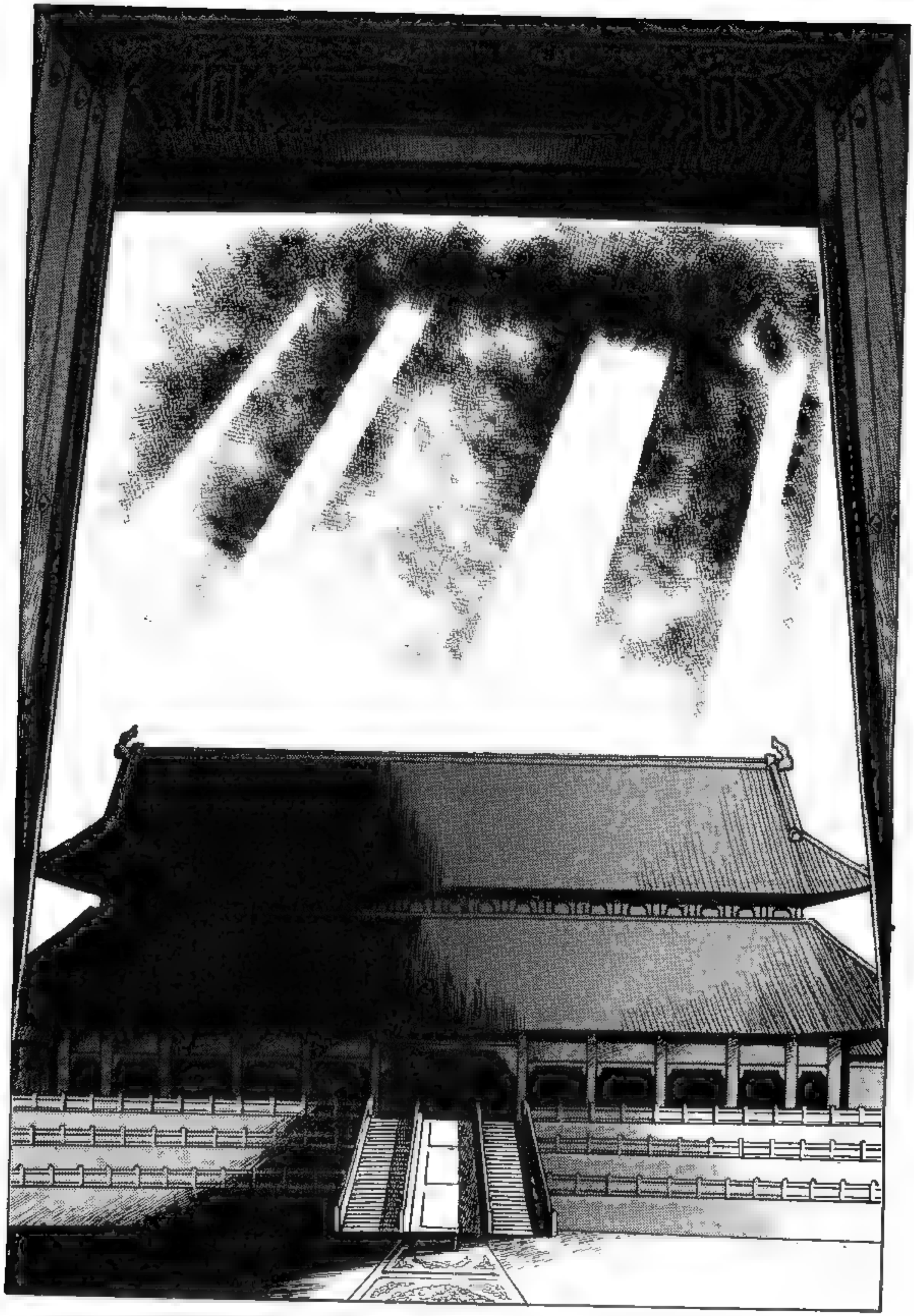
【蘭々】らんらん

華玉の妹。共に李張に学ぶ。道士としてその能力は未知数だが、幼い割にはしっかりして、紫紋のよき友である。

【秦宮括】しんていかつ



西光王秦馬の息子。秦馬の復仇戦で、項武と激戦を繰り広げる。その後、雷に心服し、五丈とは講和を結ぶ。



南天を攻める!!

おう!! いよいよですな!

羅侯 何するものぞ! 準備も着々と進んでおりますぞ!

師真

はっ!

此の度の戦は
弾正公以来
五丈の悲願でもある
南征だ

今までの
攻めてきた敵を
迎え撃つのとは
全く次元が
異なる戦いに
なろう

敵の懐は深く
補給線は常に
不安定となり
地形の利を
使えるのは
羅候の方となる！
弾正公の
南征失敗の愚…
我々は繰り返しては
ならん！

そのためにも
まずは
南天という国を
よく知るべきだと
思う！

まずは
この南天の
歴史と
国家構成に
言及したい

いささか
退屈な話かも
しれぬが
ここに南天攻略の
ポイントがあるのだ

知っての通り
南天は
神聖銀河帝国
以来の
少数民族国家の
集合体だ

前世紀から
離合集散を繰り返し
ある時は
銀河中央に組みし
ある時は敵対し
討伐をも受けた

だが
中央にとっても
余り魅力的な地では
なかったのだろうな
積極的な併合支配は
おこなっていない
いくつかの有力部族を
手なづける程度の
間接支配で
すましていた

その有力部族が
智・明・趙・練・孟の
五国の元となっている
いわゆる
南天の五雄って
やつだ

その五国の内
最初に近代化に
成功した智が
南天の盟主と
なった

それが
あの独眼竜
正宗の智だ

さて
我々の敵である
羅候の練だが…

その頃は
智の同盟国とは
名ばかりの
属国に近いものに
すぎなかったが

だがやつらは
正宗が五丈との
抗争を続ける中
さらに奥地の
未開発民族の
南蛮国との
合併を成功させ…

次第に国力を増し
正宗失脚の虚を衝き
一挙に南天全てを
手中にしたのだ！

こうして
今の統一国家
「南天」がある

…とまあ
華々しい練の
発展ぶりを
説明したわけだが
竜王様
ここまでの話で
歴史と国家構成の
キーワードに
お気付きでしょうか

多民族…

多民族国家だな！

その通り！

ご賢察
恐れ入ります

統一国家「南天」は
統一とは名ばかり！
昔と変わらぬ
少数民族の集合体
なのだ！

練・南蛮

多くの部族にとって
智から練に
乗り換えたにすぎず
練の武力を恐れる一方
その保護も求めたい
一心で南天に
組み込まれていると
いうわけだ

事実
南天の高官には
少数民族の
王族・貴族出身者が
多いし

彼らは物資・兵員を
練に提供するのと
引き換えに
南天の高官の地位を
与えられたのだ

ならその統一国家をまた元の多民族国家に戻してやればいいわけだな

はい

そして彼らに我が五丈に三度乗り換えてもらえばいいのです

我々が求めるのは合戦で勝つことでも首都を陥すことでも羅候を殺すことでもない！

南天連合の解体である!!

丞相
それは武力だけではいけませんな

政治・外交の多面攻撃でなくては…

うむ
元来
俺は戦
政治の一選択肢だと思っている

つまり南征はもう始まっていることになる

始まってる？

それについては
林より説明が
あります

傅格と候敭
というと…

あの骸延の
腹心の二人か！

実は六紋毎の
戦いの以前より
傅格・候敭に
金三百万を渡し
南天に向かわせて
あります

しかも
根っからの
謀略好きときた

はい
敵将の部下
とはいえ
中々の弁舌の才の
持ち主達です

まっ
これも
人の活かし方だな

彼らに
南天の小部族の、
懐柔を命じました

金の力も
さるものながら
先日の負け戦、
生き方を考える
者も多いものと
存じます

敵の中に味方を作るのは兵法の鉄則！

補給線の伸びきる敵地で戦う限り味方は必要です

…にしても金三百万か…

赤字だ赤字だという割によくそんな金があったな

どこから調達したんだ？三楽斎

当然借金…でござります

ははは…やっぱりな…

なあに天下を手中にすれば借金取りなんぞ恐るるに足らず!!

ゴクリ…

敵の切り崩し策として第二に民族間に疑心暗鬼を生じさせます

先の戦の捕虜を練とその他の部族別に分け

練の者は全て斬り殺し…

逆に他部族の兵は釈放し若干の食糧を持たせ国許に送りました

彼らは五丈が敵として練だけだという事の証人です

これから起きる五丈と練の戦に巻き込まれることを恐れるこれらの国と捕虜のこの様な差別待遇に裏取り引きを疑う練との間に疑念を生じさせるでしょう

ふふ
さすがは
俺の知恵袋達だ

仕込みは
着々と進んで
いるようだな

それに…
項伯
例の物を！

は…
はいっ！

これを
ごらんください
陛下

おおっ！

こいつは…!!

五丈軍総旗艦
金剛（二代目）

総トン数で
一・八倍

砲力で
先代の実に
二・四倍
装甲重量も
三倍に達して
おります

まさしく
実戦力で
「定遠」級をも
はるかに凌く
大戦艦で
ございます

また
先代での
欠点であった
通信能力・
指揮能力も
飛躍的に
ふさわしいものと
なっております

うん！
うん！

なに？

紫紋(しもん)が？

陛下！

いやかしたぞ
伯！

究成は
いつだ!!
ええっ！

申しわけ
ありません
大事な朝議とは
存じておりますが…

おーっ
紫紋
いい所にきたな！

これを
見てみろ！
すごいぞ〜〜

…巴峻様の
ことで…

ん――
相変わらず
チャーミングだね♥
私とは
思えません

……

おいおい
そりゃ
ほんとかよ？

ええ…
なんだか
体調が
悪そうなので…
本人も
そうだと…

それでできれば南天へ…

いかがなさいました竜王様？

いやこの間の羅候の女房だけどよ

はらんでるってよあいつの子を！

ほう！

好都合ではありませんか

妻だけと己の血を引く子も一緒では人質としての価値が違います

羅候の戦意も大いにくじけることになり南征も容易になりましょう

し…師真殿!?

たしかに！しかも男なら首根っこ押さえたも同然だ！

これは戦う前から幸先がよろしいようで…

なりません!!

そのような
謀(はか)りごと…!!

このわたしが
断(だん)じて
許(ゆる)しません!!

ぬ〜っ!!

ぬっ!!

師真殿(しんどの)！

はっ…
はいっ！

大五丈(だいごじょう)を束(たば)ねる
宰相(さいしょう)でありながら
なんという
さもしい策(さく)を
陛下(へいか)に授(さず)けるのです！

あ…
い…いえ
その…

お…
お気持ちは
わかりますが
この戦国の世(よ)の
多(おお)くの兵(へい)の
命が関(かか)わる戦(いくさ)を
いかに有利(ゆうり)に戦(たたか)うかを
陛下(へいか)に示(しめ)すのが
我々(われわれ)の役目(やくめ)で…

おだまりなさい!!

ひっ！

南天軍(なんてんぐん)三千万(さんぜんまん)を
赤子(あかご)の腕をひねるかの
如(ごと)く水没(すいぼつ)させる
智謀がありながら
そのような
たわ言(ごと)を!!

女・子供の命を
盾に国を奪って
何が天下人
ですか!!

いや
そうで
ございますが…

り…林(りん)
なんとか
言ってくれ！

あ…
いや
わたしは…

あなたに
言(い)ってるのです
師真殿(しんどの)!!

恐い顔

あなた方(がた)も
あなた方(がた)で
ですよ！

一緒(いっしょ)になって
我(わ)が夫(おっと)を笑(わら)い者(もの)に
する気(き)ですか!?

孟閣殿(もうかくどの)！

三楽斎殿(さんらくさいどの)！

うっ…

わわわ…

如晦殿(じょかいどの)！

い…いえ
滅相(めっそう)もない…

紫紋(しもん)…
もういいだろう
わかったから
皆(みな)を
そういじめるな

ばっ

陛下!!

わわっ
こっちもか…!!

軍師は
策を献ずるのが
お役目…

それを
採用するか
どうかは
陛下の
ご決断です

そりゃ…
そうだ

ははは…

先程
一児の親に
なったばかりなのに
まさかこのような
親子の情を
踏みにじる策を
取りあげる気は
ないでしょうね!

ああ
わかった!
わかったから!!

今の話は
無しだ!!

今日の評議は
終わりだ
終わりーっ!!

なあ
怒(おこ)ってるのか
紫紋(しもん)？

……

軽率(けいそつ)だったしかに
時期(じき)が時期(じき)だけに

スマン…
あやまるよ

きれい事(ごと)で
すまないことは
わかってます…

よくわかってる
つもりだけど…
現実(げんじつ)にあんな
話(はな)を聞(き)かされると…
つい…

あの後(あと)
邑峻(ゆうしゅん)の事(こと)は
蓮中(れんちゅう)と
いろいろ考(かんが)えた

どーいう
形(かた)にしろ
善処(ぜんしょ)するよ

ほんとに？

あたしを
南天に帰して
くれるって？

ええ
竜王様も
そう約束して
くれました

いいよ
そんなこと
しなくたって！

けど…

どうせ
五丈は南天軍に
占領されるしさ

あたしは
ここで
羅候が
迎えに来て
くれるの
寝て待つもん！

だいたいさー
今頃は
この斉王都だって
南天のものに
なってるはず
だったのよ！

あたし
最初から
ここで
産むつもり
だったしー

羅候が
新王宮
建ててくれるって
いったもんね！

そんなことになったらわたし達が困りますけど…

どの顔さげて羅候に会えばいいのさ!!

捕虜になってさ!お情けで生かしてもらって…

揚げ句の果て「お身体お大事に」って送り返されるのよ!!

それにを…

お腹の子だって竜我に手ごめにされたからだろうって言われちゃうのよ〜〜〜!

ヒーー!!

雷はそんなことしません!

帰りたい…

ボソ

羅候殿も待ってくれてます

そーかなあ
手ごめに
されてるって
思わない？

父親が
自分の子供の
顔が見分け
られないはず
がありません

そうよねー！

じゃあ
帰るーっ!!

将軍、
いつまで
艦に寝泊り
するつもりです～？

そうそう
朝議も
仮病使って
欠席して…

往生際が
悪いですぜ

うるせえ
あんな女が
いる家に
帰れるか!!

…ったく
竜王様も
冗談すぎるよな～

なんだって
あんな女を
嫁にしろだなんて…
くそっ
夢なら
さめてくれ!!

いやしかし
将軍も
今や正二品の
南征将軍ですぜ

嫁の一人や二人
もらっても
ちいーっとも
おかしくねえっすよ

なあ！

俺にだって
好みが
あんだよ!!

は――
好みっすか
…でどんな？

どんなって
おめえ…

やっぱ
色白でよー
清楚で…
なんつーか…

ほう
ほう

抱きしめたら
壊れちゃい
そーなよー…

……

…て
言わせんじゃねー
バカヤローっ!!

あたたっ！
だって将軍が
勝手にメルヘン
してるんじゃ
ないですかー！

しかし
モロに
正反対ですな
理想と現実が

まあ
あの女なら
将軍の馬鹿力で
抱きしめても
壊れはしませんわな

てめえっ！

ギッ

ギィ、

ス
ス
ス

こ…これは
丞相…

こんな所に
いかがいたしました？

うーい

うるせーぞ
下っ端！

大覚屋師真様
直々の
御検分だ！
女のところに
案内せい!!

は…
はは…っ!!

いぇぇぇぅ

……

！

ひゃっひゃっひゃっ
驚いた!?
びっくりした!?

だ…

!!

大覚屋師真…っ!!

なんだよ
そんな
恐い顔
すんなって!

あ…
なんだなんだ
そんな奥に
行くなよ

こっちに
来いよ〜

うるさい!
酒臭いのよ
あんた!

おいっ
何してる
ここ開けろよ!
御検分だと
言ってるだろ!!

ああああ…

いやっ!
それは
できませぬ!!

竜王様の
命以外に
ここを開けては
ならぬと
上よりきつく
言われて
おりますので…

ちっ
どーせ
三楽斎の
石頭だろーが…!

まっ
いいや

牢ごしに美人を見ながら飲む酒もまた一興…

……

なんでそんなに酔ってる？

ん？

聞きたい？

愚痴は聞かぬぞ！

愚痴じゃねーよ！

嫌われちまってなあ…

紫紋姫か？

ぶっ!!

ちょっと待っていっ!!
なんでわかる!!

ふ…
やっぱり愚痴じゃないか

あんたと同じでねえ

自分の敵のことは徹底的に調べたのさ

どんな女が好きとか

だれと寝たとかもね！

けっのぞき見趣味だぜ～

ふん！
お互い様よ

おいっ！

飲めよ！

聞いてやるぜ おまえさんの 愚痴もよ…！

お…っ

かーっ
いい飲みっぷり
だねーっ〃
それ
もういっちょ！
ほれほれ〃

そんなに
つぐな
バカ〃

ねえ…

女(カノジョ)って
どーして
こうバカ
なんだろうね…

どーした
おまえさん
賢(かしこ)いだろ

李張(リーチャン)老師(ろうし)の
高弟(こうてい)じゃねーの
骸延(がいえん)と
同期(どうき)だろ？

バカだよ
あたしは…!!

自分(じぶん)が
何(なに)をしてるか
わからなくなる
なんて…

どーしようも
ないバカだよ

怖くなって…

身動き取れなくなっているのに…

抜け出そうともせず…

流されるままだなんて…

バカ以外考えられないでしょ

けどバカの方がかわいいぜ

あんたはそれ ばっかしだね！

あんたこそ…

!!

あ――

俺もバカだ！

だろ？

ふふっ

バカは
バカ同士
仲良く
やろーぜ!!

そまあっ
またっ
そんなに!!

ほんと
バカね!!

…ったく
人の愚痴
聞いてやるって
言ったくせに…

どーでもいいけど
風邪ひくよ
そんなとこで
寝てたりして…

ちょっと
起きなさいってば！

いっくしゅん！

……

もう
世話が焼ける！

こんなもんしか
ないけど…

無いよりましでしょ！

華玉様……

梨扇！

ん…？

はい…！

何しに参った？
こんな姿のわたしを笑いにか？

お別れに参りました…

もう
おまえとの
縁も切れている
どことでも
行くがよい！

いえ…

華玉様は
おっしゃいました…
自分の始末は
自分でつけろと…

わたしは
華玉様の
部下です

何を
するつもり!?

命令を
実行して
死にます…!!

梨扇!?

お待ち
なさい!!

梨扇!!!

起きなさい
大覚屋!!

起きなさいってば
もうっ!
一大事なの!!

起きなさい!!

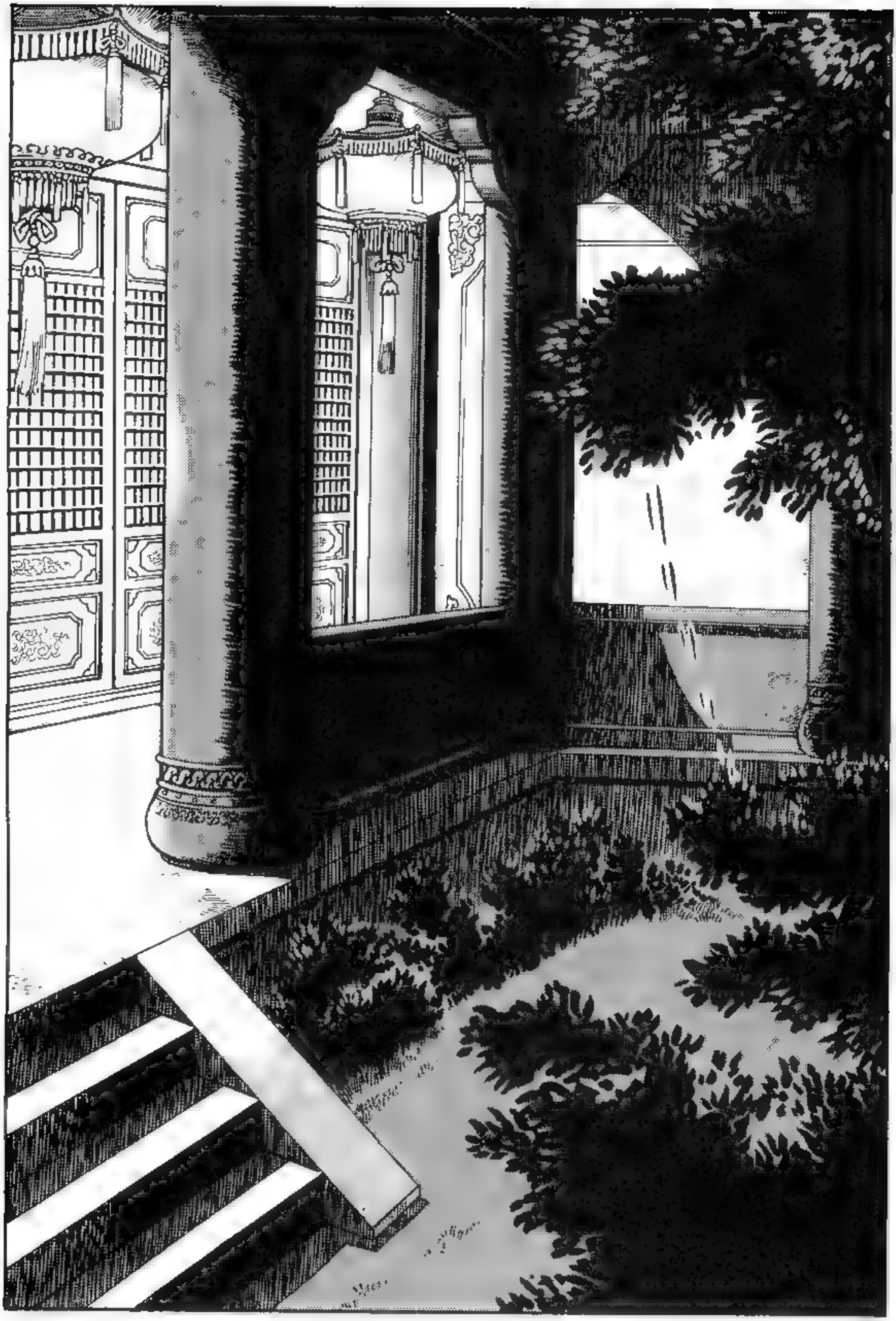
ああ
もうっ…!

だれか
いないのーっ!!

だれかーっ!!

やれやれ
丞相様も
好きだねー
何も罪人の
女に手出さなくても
いいのにさー

あの女
死刑囚だろ
まっ後腐れは
ないわな



ゾロゾロ

よいか
おまえ達
今宵は
おまえ達の
初仕事じゃ
決して
陛下のご機嫌を
損なわぬように！

はい…

もし粗相が
あれば
おまえ達を
後宮にあげた
この私にも
責任が及ぶの
だからな！

ご安心を
内府様
私達 作法も
言葉使いも
しっかり
学びました

けど
竜王様って
どんな方かしら
楽しみ～

うまく
お手付きとも
なったら
ゆくゆくは
お妃の
一人にも！

これ！
静かにせんか！

きゃ――♡
ステキ！
あたしも
がんばっちゃう〃

は――い

!!

竜王様
今宵の
夜伽の者五名
お連れしました

竜王様に
お目通り
賜ります

ん？

うむ

ひいふうみい…と

ちゃんと
ついてきて
おろうの

※夜伽：寝所で女が男の相手をすること

ほ――
今日はまた
べっぴん
ぞろいだなー

やだあー
竜王様ったら♡

これ！

ギロッ

はい
そりゃもう
選りすぐって
おりますので…

ご苦労だったな
王内府
退がっていいぞ

はは――っ
それでは
お休み
なさいませ

竜王様
お一つ…

トヨです

ウメです♡

ねえ――
竜王様
聞くところによると
竜王様は
〝例のお遊び〟とかが
お好きとか…

ん？

おいおい
だれだ
おしゃべりな
奴がいるな

私も
そのお遊びが
しとう
ございますぅぅぅ

私もぉぉぉ

今日の女は皆新しいのといっていたが…

おまえとはとこかで会ったか？

……

まあ過去何してたなんてことは一々詮索はしねえが…

抱いちまったら同じだからな！

あっ〃

ふふふ根性の据わった目をしてるな

やーーーんくやしいーーー

俺に抱かれて子を宿すことしか考えてない他の女達とは違うな

何か強い意志を持ってる目だ…

違うか？

それともこいつは死相か？

刺客う～～～？

んなことで
人を起こすなよ
…ったく～～～

起こすなって…

竜王はあんたの
主君でしょ！
その命が狙われ
ているのよ"

おまえな～～

刺客
ごときが
雷を殺せると
思ってんのか？

!!

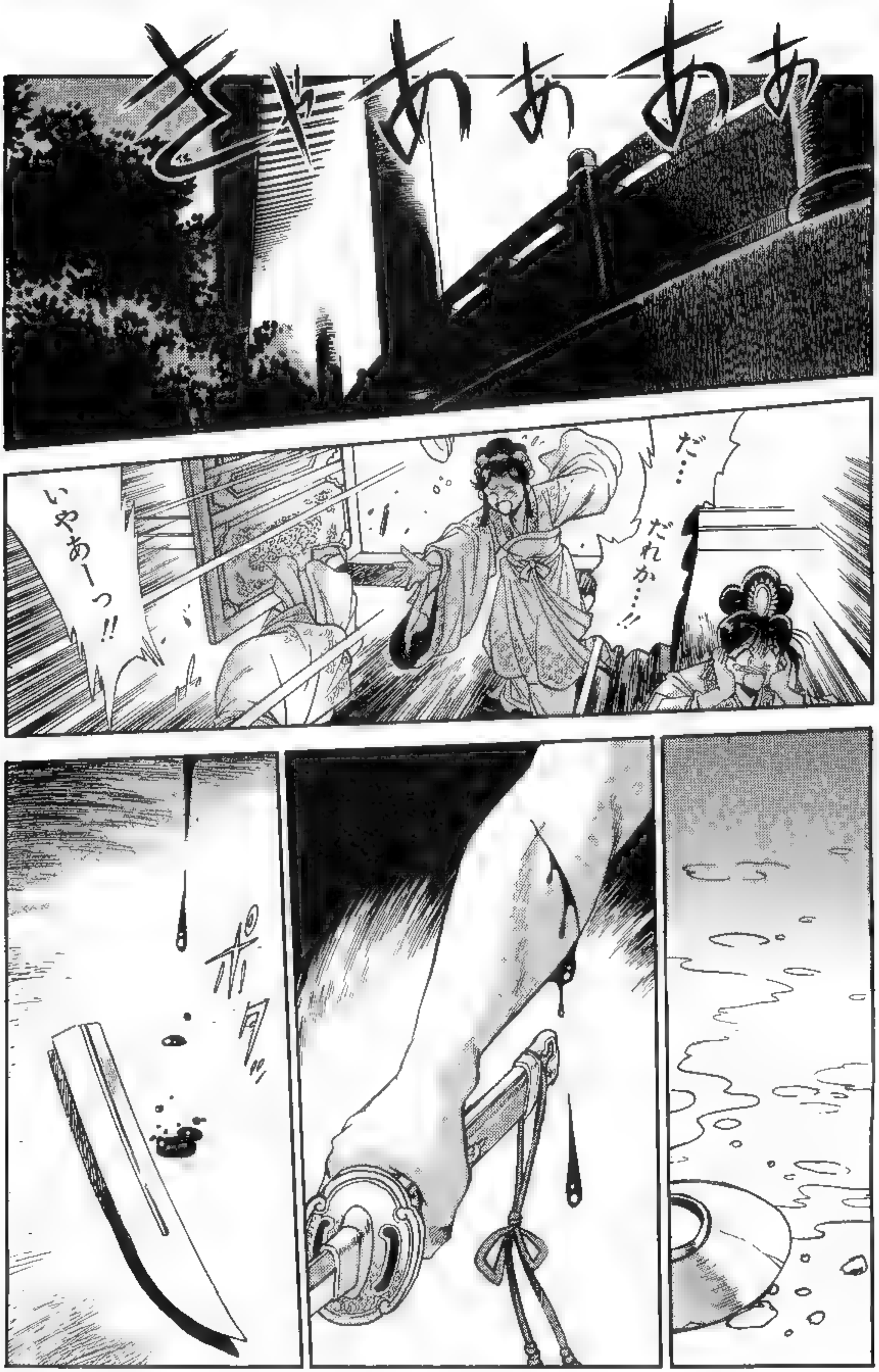
南天軍三千万が
寄ってたかっても
殺せない男だぜ

この銀河を
指先一つで
動かそうと
している男を
どうして
刺客なんぞが
殺せるかよ

その刺客さん
とやらの
ご冥福を
祈って…

乾杯！

……


ざわ…ざわ…
だ…
だれか…!?
いやあーっ!!

梨扇(りせん)!!
おまえか…

殺せ…!

ひとおもいに
殺せ…!!

おまえを
殺しに
きたのだ…!

覚悟は
できている…

殺しにきただとぉっ!!

ひっ!

冗談ぬかすのもたいがいにしろ!!

俺を殺すなら本気で来いっ!!

殺気のさの字も感じねえんだよ!おまえから

まさかその気配を完全に消せるほどの玉じゃあるまい

お願い!殺して…!

殺してください!!

バカヤロウ!

本気でも
ねーやつを
斬れるか！

……

あたしは
ある人に
命じられ…

殺すのを
目的に
あなたに
近づきました…

ああ
多分そうだろうと
思ってたよ

え…？

南京楼に
いた時は
それなりに
身辺には注意
してたさ
四天王相手
だったしな

じゃあ
なぜ
今まで…

あたしを
泳がして
たのですか？

任務のためとはいえ
おまえはよく
紫紋に尽くして
くれた…

……

間者一人
斬るのは
たやすいが
妻の友人を
斬るのには
躊躇してな

そうですか…
奥方様には
たいそう
親切にして
いただきました

あたし自身
あなたにも
興味がありました

戦乱の時代に
突如現れた
風雲児
竜我雷に…

あなたの許に
多くの英傑が
集結し
皆の想いが
一つになる様を…

そして
あの時の
城外での
竜虎の対決…

どうしても
あなたの
行く末を…
あなたが
作る新しい
世界を
見たくて…

あなたを中心に
歴史が…時代が
動いていく様を…

忍ひとして
失格ですね…

殺す相手に…
夢中に
なるなんて…

さて…

じゃあ
取りあえず
手当て
してもらおうか

ええ!?

りゅ…
竜王様

それを
あたしに
ご命じに…!?

いや?

い…
いえ
ただちに…

あの…
竜王様…

ん？

あたしの罪…
いつ
裁かれるの
でしょうか？

忘れろ！

二度と
今晩のことは
口にするな

しかし…
それては…！

まあ
おまえの
罪といえば…

この有り様だな
見ろ
女も酒も
消えちまったぞ！

ももも…
申しわけ
ございません”

…というわけで
今夜の夜伽は
おまえ一人だからな

よろしく！

え！
え！
え
っ!!

まっ
生が一番
だけどな

そんな
無骨な
忍び装束
なんか
脱げ脱げ
脱げ

夜伽には
もっとふさわしいのが
あるだろ

……

へぇー

くの一ねー

そら
やばいな…と

だから
さっきから
いってるでしょ！
女だからと
油断したら…

バーカ
やばいのは
そのくの一の
方だ

え？

雷のやろー
夜の方は
ケダモンだぜ～！

あわれ
くの一は
一巻の終わり！
今頃やつの
腕の中さ！

な・な・な…!!

だって
麗羅は
産後だし
紫紋ちゃんは
アレの最中
だぜ

たまるもんは
たまるだろ

雷の
見て
後宮で侍ってる
女なんかより
毛色の違うのを
好むだろーしなぁ

まあ
俗な言い方を
すれば
やりっ放しだ

それは
あんたも
一緒でしょ

かんべんして
くれよー——

自分を殺しにきた
くの一相手だなんて
あいつ好きそーだぜ

後先のこと
考えねーのも
雷らしいよな

俺は好みが
うるせえんだぜー
さすが大覚屋
師真が抱いた
女ってブランド名に
なってんだからよ！

竜王様!!

皆のものであえであえ!

賊じゃーっ!!

竜王様!

大事はございませぬか!!

竜…

何事だ
王内府
火事でも
出したか!

あ…
いえ

その女どもが
陛下の寝屋に
賊が出たと…

なんだ
なんだ
うるせえぞ!

竜王様!

ああ
あれか

あれは
女とちとの
待ち合わせだ

はあ？

ふう…

やれやれ
今日は
やたら騒々しい
夜だな

ん〜〜〜っ！

さてと
明日も
朝議が
早いからな

そろそろ
おいとま
しますか

行くのか？

ああ
長々と
付き合わせて
悪かったな

おかげで
失恋の痛みも
和らいだ！
美人と酒は
まさに
百薬の長！

いろいろ
愚痴を
聞いてくれて…

あなたに
話して
少しは気が
晴れたわ…

俺も
あんたと
話ができて
ほんとうに
良かったぜ

あっあたしの方
こそ…

骸延とは
話す暇も
なかった

姜子昌とは
殺し合いが
待ってるだけで
話すことは
あるまい

互いに
想いは
同じはずだ
骸延も姜子昌も
飛竜も…
そしてあんたもな

俺達は
自分の仕える
主人を通して
未来を見て
たのさ

そうだろ？

ええ…

新しい
世界をね…

ピク

お休みの
キスは？

バカ!!

竜王様（りゅうおうさま）

この者（もの）の才（さい）を買（か）うことを おすすめします

おう！

うまく口説（くど）き おとせた ようだな

私（わたし）誤（あやま）った主人（しゅじん）に仕（つか）え 竜王様（りゅうおうさま）を害（がい）しようとしました その罪（つみ） 万死（ばんし）に値（あたい）します

しかし 今（いま）となっては 赤子（あかご）が父母（ふぼ）を求（もと）める心境（しんきょう）… 願（ねが）わくは 真（しん）の君（きみ）をお助（たす）けし 罪（つみ）を償（つぐな）わせて いただきとう ございます

お願いします
私も一緒に
お連れください
新しい時代へ！

華玉
立つがいい

はい
竜王様

俺はおまえの
仕えた玄偉を
悪だとは
思っていない

もちろん
自分を正義とも
思ってはいない
勝ち残った者と
敗れ去った者と
いう違いだけだ

だが勝ち残った者は
まだ戦い続けなくては
ならん

今日から朝席に
連なり
俺を助け
その名を万世に
残すがいい！

竜王様

ありがたき
幸せに
ございます!!

おまえに会いたがっていた者もいるぞ

え？

お姉様(ねえさま)!!

蘭々(らんらん)！

うわーん！

お姉様(ねえさま)～っ!!

よかったですね

こうして
新しく
軍王を加えた
南征大本営(だいほんえい)でもある
丞相府は
がぜん活気(かっき)づいた

出より作戦計画の
執行権を委ねられた
参謀達は
師真が描きあげた
〝南征の書〟を元に
個々の作戦計画を、
机上演習し
精密な検討を重ねた

その中で
軍王は
〝長吏参軍〟として
腕をふるったのである

!!

丞相
お客様が
いらっしゃって
おります

客？

兄さん！

おお
英真じゃないか！

お久しぶりです

いやいや
よく訪ねて
きてくれたな…

さあさあ
奥へ来い！
茶でも
用意しよう

その姿…
喪服だな…

すまんな
親父の葬儀も
すべておまえに
まかせてしまって

親父は…

何か言ってたか
死ぬ間際に

兄上に
会いたかったと

ただ
それだけです…

そうか…

南京楼のことも気掛かりだったが政務に追われてな…

どうしても私事は後回しになる

皆いそがしそうですね

ああ南征の準備に大わらわでな

何しろ竜王に作戦計画を上奏するまで十日の猶予しかないんだ

もう二日も徹夜だぜ

安心しろ必ず親父の仇は討ってやる！

ズ…

ど…どうした

そんな大声で？

兄さんの考えは間違っています！

これ以上戦い続けるのは五丈と南天互いに恨みを残すだけです！

殺し殺され…この度の戦でもどれくらいの血が流れたかおわかりでしょう!!

兄さん!!

何がいいたい…

土台この広大な銀河を統一するなんて無理な話です!!

また統一しなきゃいけない理由がどこにあるんです!!

五丈と南天…この二国で天下を二分してもいいじゃないですか!!

互いに交流を盛んにして共に栄えれば何の不都合もないはずです!

南天と和睦でもしろというのか?

そうです!

もう血を流す必要はないんです!!

それはできん!!

!!

そのようなこと竜王の意志に背くことになる!

なれば
竜王様は
何を求めて
いらっしゃるのですか…

この世に
覇を求めて
何を得るつもり
ですか〃

口が
過ぎるぞ！
英真〃

おまえが
とやかく言う
問題じゃない！

わかりました
もう何も
申しません…

でも
最後に一つ
言わせてください

兄上は
竜王がたくましく
覇を求める姿
新しい世界を
打ち立てる姿に
惚れられて
お仕えして
らっしゃいます

だけど
その想いが逆に
竜王様の…覇業の
本当の姿を
見えなくしているの
ではありませんか！

もういい…！
頭(あたま)ガンガンする…！
それではお忙(いそが)しいようなのでお暇(いとま)します…
ああ…
兄(にい)さん…
ぼくはぼくのやり方(かた)でこの銀河(ぎんが)に平和(へいわ)を取(と)りもどしてみせます!!
……
なんだまだ言(い)い足(た)りないのか？

この一日が
人類史上
一生忘れえて
しまった

もし来月が
今までのように
当り前の日々
昨日助けた者に
殺されていれば
何事もなく
人々なまっとう
できたであろう

だが時代の流れは
この二人の兄弟を
飲み込み
翻弄するのだ

そして
陽真は
最も自分を
理解してくれた
姉なる人
うことに
なる

……

うん
よく出来た
作戦大綱だ
ご苦労だったな

ありがとうございます

これによると
侵攻前に
智と西羌を
固めよと
あるな

はい
智を固めるのは
二面作戦の
足場を得るため
西羌を固めるのは
後顧の憂いを
無くすためで
ございます

そのため
智領の
速やかな占領！
そして
秦宮括の
母親を人質に
取ることを
お薦めします

母親を
人質？

はい西羌は
同盟国とはいえ
実質的には
我が五丈の属国

属国の主君が
妻や母親を
人質に出すのは
常識でございます

好かんな
そういうのは

また
奥方様に
反対されますか？

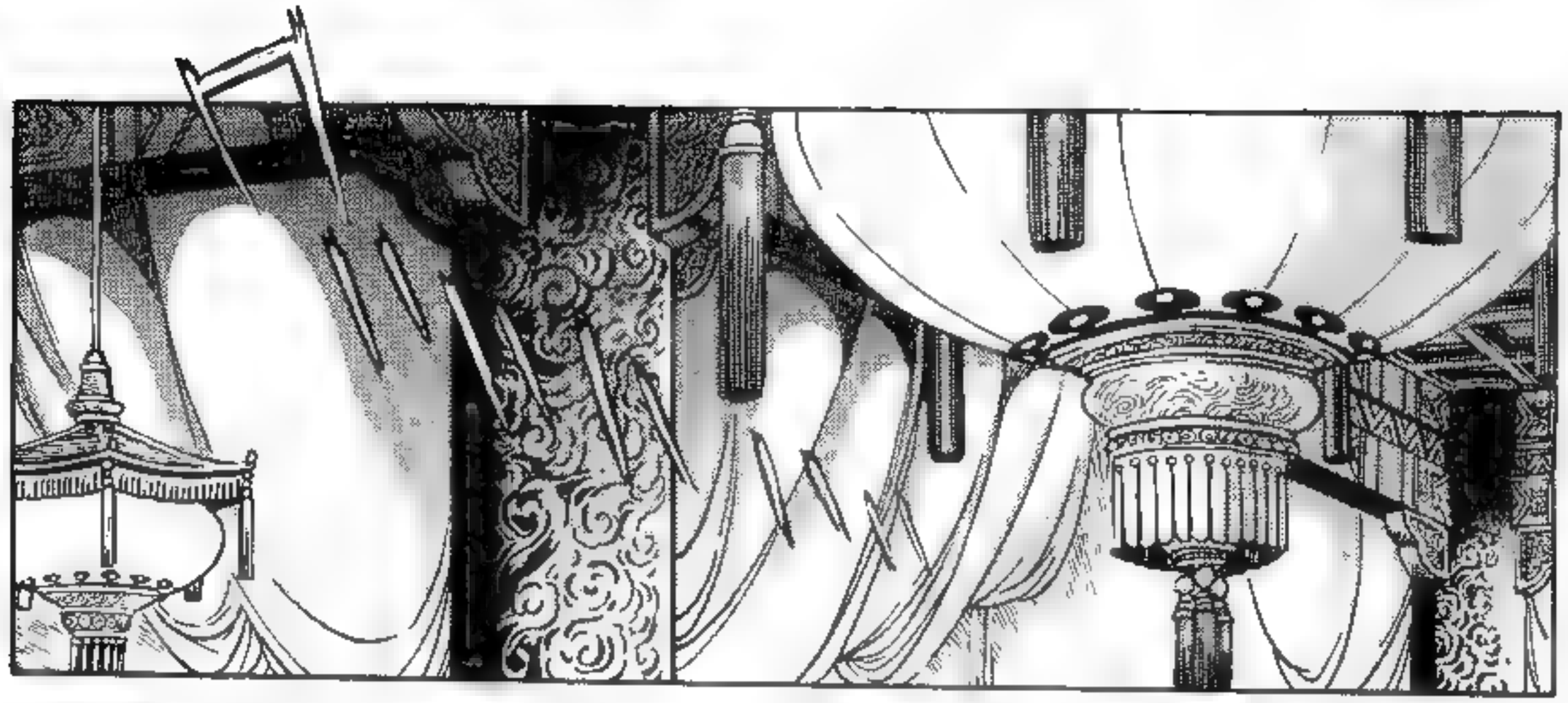
なんだ
イヤミか？
人質を
取ることには
反対はしない
は

明日にでも
秦宮括が
やってくるって
話だ

人質の
人選は
俺にまかせろ

はあ…

翌日
秦宮括は
再び斉王都の
客となった
玄偉の首を
父親の墓に
奉った礼を
述べに来たのだった



ところで
秦殿
貴公には
兄弟が
おられたな

ええ
弟が三人
おりますが…

どのような
男達かな

そうですな
兄のわたしが
言うのもなんですが
次男の荘架は
弓馬に優れており
三男の横車は
深く兵法に
通じております

未弟は？

いやあ
これが
どうして
こいつだけ…
という感じで…
文武共に
さっぱり！
身体も
弱うござってな

どうだろう
その末弟を
俺に
預けてくれないか

え？

いや
今度の南征の際
五丈と西羌の
混成軍団を一つ
新設しようと思う

その軍団長に
招きたいのだ

あ…
いや

混成とはいえ
栄えある五丈の
軍団長を
とても我が愚弟にいや
務まるとは
思えません

例えば次男の
秦荘架なら
わたしも
自信を持って
送り出しますが…

末弟の名は？

公旦…
秦公旦と
申します

しかし
考え直された
方がよろしいですぞ
あいつでは
竜王に迷惑を
かけるだけで
ござる

いやいや
男は化けるとも
いうからな

ぜひ
お願いしたい

そこまで
おっしゃるなら…

ぜひとも
あやつを
一人前の男と
なるよう
鍛えてやって
くだされ

では
弟君の
活躍を祈って
乾杯といこう！

よろしく
お願いいたす

……

なるほど
秦宮括の弟か…

竜王様
なんだかんだと
いいながら
我々の西羌の
報告書を
ちゃんと読んで
おられますね

そうだな…
できの悪い弟を
秦宮括が
常に気に掛けて
いることをな…

形式通りに
母親の人質を
提案した
我々は
竜王に一本
取られましたね

だが
この発想…
竜王の
恐ろしさを
見た気がする

どういうことですか

弟を人質に取るだけでなく華々しい最前線の指揮官に任命したんだ戦果をあげれば秦宮括は我が身の如く喜ぶだろう

人質という事実を隠蔽しまた厚遇することで弟 公旦を五丈シンパにもできる

竜王はすでに同盟国西羌の解体をも視野に入れているようだ

そういう謀り事をああいう風に陽気に笑って進めていかれる

支配者として理想的かもな竜王様の性格は…

とにかくこれで後顧の憂いはひとまず消えましたか

うむ次は智にてこ入れしないとな

玄偉の件
老師殿には
感謝します

ない
いやなんの
なんの

ああ
肝に銘じて
おく

あれも哀れな
男での…
まあ
天下人の影には
あーいう輩が
おるということを
そちにわからせた
だけでも意味が
あったかのう

しかし
老子殿
まだ若いな

もう八十を
優に超えて
いるのに
たいした
かくしゃくぶりだ

なーに
無為の精神じゃ
老後は
これが一番！

実は…

おっと
だからといって
大傅なんぞ
わしは
まっぴら
ごめんじゃぞ！

今更朝廷に
出入りするのは
寿命が縮まる
だけじゃ

やれやれ
お見通しか
けど
俺は
あきらめ
ねーからな！

時におぬし
正宗より
智の処遇を
まかされたと
聞くが…

ああ
正宗の弟
虎丸に天下取りの
気概なければ
五丈に降伏しろと
いうのが
正宗の遺言だ

だが俺は
虎丸がどんな
男であろうとも
今更天下取りに
参加させる気はない！

それに
今の智の朝廷には
政事をなす力すら
無いしな

正宗の死によって
絶望した
家臣団により
空中分解している
有り様だ

虎丸も
すでに覇気もなく
後宮で
酒と女の
日々だそうな
飛竜も
苦労してるだろ

ならいかに処遇する気じゃ？

ふん！自分の運命を自分で決められない連中だ

俺が決めても文句はあるまい…！

けどなぜそんなことを聞く？

じいさんがよけりゃ智王にしてやってもいいぜ

バカモン！

おぬしの覇というものがどーいうものか見てみたくてのう

それだけじゃや

智は一丈と南天の草刈場となるだろうな

その成果は次の南征にも大いに関わってくる手は抜けないな！

南天王国主都
益州都改め大王理

その頃
一方の南天は
六紋海の戦いでうけた
物心両方の傷を
癒すため息をひそめ
ひたすら回復を
待っていた…

羅候様…

殿…

!!

だ…
だれだ!?

殿は
すでに
我らを
お忘れか…

夏侯才!!

殿はなぜ生きてらっしゃるのですか…

我らだけ殺し…

自分だけ逃げ帰った…

殿も死ねばよかった…

我々は殿のために戦ったのですぞ…

味方を踏みつけにまでしてなぜ生き残るのです…

死ね！

死ね！

羅候(らこう)〜〜っ!!

邑峻(ゆうしゅん)!!

助けて〜〜っ!!

邑峻!!

殿! いかがなされました!!

邑峻!!

夢か…

また
同じ夢を…

酒を
持ていっ！

はっ
しかし
昨夜も
痛飲なされて
おります

お身体のためにも
少し
おひかえに
なった方が…

やかましい！

つべこべ
言わず
持ってこい!!

なんと…

毎晩
うなされて
おいでか

はっ
大勢の
部下を失った
責任…
また
邑峻様を
失った寂しさも
おありなんで
しょうが…

昼間より
浴びるように
酒をお飲みになり
夜は夜で
悪夢に悩まされて
おいでです
皆て
お諫め
するのですが
逆にお怒りを買い
お手討ちに合う者も
少なくありません

更に
太華殿前に
大きな鼎で
油を煮つめ
意見した者は
煮殺すと
お触れを出されました

我ら百官
恐怖で殿と
目を合わすことも
避けている事態です

うむう…

わしが
神経痛のせいで
出仕しておらぬ
うちに
そのようなことに…

敗れたからこそ
今が一番大事な時…

わしが
宰相代理に
任じた
魚鳥木は
どうした！

あやつは
何を
しておる！

それが…

どうした？

魚鳥木になにかあったのか

はい…

魚鳥木様は勇を奮って殿をお諫めしようとなさったのです

その日は殿も話に耳を傾けていらっしゃったのですが…

魚鳥木！おぬし俺に仕えて何年になる？

はっ

我が水族が南天に帰順してより七年お仕えしてございます

！

七年だとお!!

よくも七年も人を欺き続けたものだな

は?

はあ…

それはどーいう意味でございましょう…?

だまれ!!

きさまら水族の捕虜は皆無事に釈放されたそうではないか!!

我が練の捕虜の将兵はことごとく首をはねられているんだぞ!!

さあ言え!五丈とどんな密約がある!!

み…密約など滅相もない…

これは五丈の策略!南天を分裂させる見えすいた小細工でございますおわかりになりませんか!

と…殿!

殿!心静めてよくお聞きください!

見苦しいぞ魚鳥木!!

おまえら
水族の国は
五丈国境に近い！
戦に巻き
こまれるのが
怖かったんだろ！

も…
もしわたしを
お斬りになれば
それこそ水族の
離反を招くことに
なりますぞ

それこそ
謀反の
証拠だ!!

斬って
しまったのか"

はい…
なんと
おろかな…
普段なら
決してこのような
ことは
なさらぬ殿だが…

しかし…
とにかく
お諫めせねば…！

我が南天は
滅んでしまう

だれも
諫めぬのならば
わしが行こう

しかし
宰相様とはいえ
諫言は
命に関わり
ますぞ！

何もせぬ方が
もっと危険じゃ

五丈の剣に
かかるくらいなら
殿に殺される方が
ましというもの！

お止まりなされ！
これより内宮でござる!!
殿のお許しなくば何人たりともお通しできませぬぞ!!
まっまて！そのお方は宰相龍緒様だぞ!!
槍を収めよ!!
ん!!
なかなか物々しいのう
はっ我らとて不承の任務でございますお許しくだされ

ほほう
これが
諫める者を
煮殺す
鼎か

今日は
何人煮た？

は…ははっ
その…
三人でございます！

ほう
三人とな…

ふざけやがって!!

この俺に
酌ができんと
いうのか!!

ぶ…ぶ…
不作法のこと
平に
ご容赦を…!!

申しわけ
ありませ〜〜ん

ならん!

叩斬ってくれるわ!!

そこへ
なおれーっ!!

きゃあ!!

待ちやがれーっ!!

お…

おた…

おた…

お助けを～～!!

龍緒でございます

殿にお目通り賜ります

!

ふん!

ばっ

よおっ
龍緒

なんだ
おまえも
俺を意見しに
やってきたのか？

滅相もない

この龍緒
殿のお楽しみを
邪魔するほど
野暮では
ございません

春の日和に
贈る祝い酒を
お持ちしたまでて
ございます

ほ――

じゃあ
つけい！
おまえの酌では
とんな酒も
不味くはなるがな！

ハ!!

な…なんだこりゃ!?

油じゃねーか"

ますうございますか?

さようでございましょうな

これは殿が不忠者を煮殺した油でございますゆえ…

なっ…!!

おいは
眠めましたかな
お話が
こさいます

う……っ〃

情けなや…
そんな腰の
ふらつき様では
この老人一人も
斬れませぬぞ！

ぬ…
ぬかせ～～っ〃

い
斬ると
いったら

斬る!!!

ぬおおおおっ!!

うわわっ!!

か…
火事だ!!

水だ!
水～～～っ!!

お…
おのれ～っ!!

ま…
まだ
まだーっ!!

んぷ…っ!!

ぬおお——っ!!

それがし
百年振りに
火を吐きましたわ

寿命が
十年は縮み
ましたの

殿…
少し
の女々しすぎると
思いませぬか

な…

なにいっ…!?

戦の勝敗は
兵家の常であり
人の生死は
天命に帰すもの

我々に
どうこうできる
ものでは
ありません

もし奥方様や多くの将兵を失ったことをお嘆きならなぜ仇討ちを考えませぬ

さ…差し出がましいぞ！龍緒!!

それくらい考えておるわ!!

考えてはいるが…どうにもならんじゃないか…!!

艦も兵も大半を失ってしまったのだぞ…！

酒でも飲まぬと気が晴れんのだ!!

このってめえ龍緒！何を笑うか!!

殿が余りにもご自分の国を知らぬのでつい吹いてしまいました

この龍緒先々代様より百余年練・南天にこの国のことは殿よりはるかに熟知しておりますよいですか殿！

我が南天王国は
殿が必要と
なされるのなら

全艦隊の装甲を
"純"金"で覆い

全ての砲弾を
"銀"で造れるほどの
大国で
ございますぞ！

装甲を
金…

砲弾を
銀で…

…なら…
それなら
俺はまた
以前の様な
大軍団を
持てるのか!?

戦いを
挑めるのだな…!!

そうだな
龍緒!!

御意…!!

よーし
そうと決まれば
飲んでなど
いられるか!!

皆を集めろ!
軍議だ!!

兵馬も
びしびし鍛えるぞ!!

殿!
まずはお顔を
洗いなされ

!!

これでよい…

龍統一世一代の大ホラじゃ

時には花も実もある方便も必要じゃろうて

将は集めたか〃

はっ広間にて殿いお越しを待っております！

剣をよこせ〃

皆の者！
心配をかけたな!!

殿！

殿じゃ!!

はは――っ!!

殿！
ご機嫌うるわしゅうございます!!

殿…
お待ちして
おりました!!

六紋海の合戦より
幾星霜…

殿が復讐の
音頭を取る日を
我ら首を長くして
待っておりました!

殿!!

どの!!

どの!!

おうっ!

前回は
まんまと
やつらの匹夫の計に
かかったわ!

だが
見ていろ
必ず
借りは
返す!!

おおっ
そうじゃ!!

弔い合戦じゃ!

牛魔王!

五丈に
復讐の刃を!!

ははっ！
ここに
控えて
おりますぞ！

再軍備の問
五丈を奇せつける
わけにはいかん！

おぬし
国境の守備を
固めろ！

領民を狩り出し
砲台・要塞・
機雷原を
増やせ〃

金角！
銀角!!

ははっ！

おぬしら
智領に向かえ〃

働ける者
戦える者
根こそぎ南天に
送り込め！

五丈のやつらに
かき回されねえ
ようにしろよ！
油断ならねえ
からな〃

座仲滝！

はっ

兵糧事行に
任する！
一千万の兵士の
食い扶ちを
かき集めろ〃

ははっ！

はっ
ご期待に
背きませぬ!!

はは―っ!!

他の者は
全力を挙げて
兵力を
立て直せ!

兵を徴募し
造船所まで
足を運び
ハッパをかけろ!
突貫工事だ!!

殿!
一つ気がかりな
ことが…

なんだ?

姜将軍です

五丈の水攻め
以来
未だ
意識が戻らぬ
とか…

ああ
まだ
寝込んでやがる!

将軍は
殿の右腕!
心配で
ございます

安心しろ!

俺が
叩き起こして
やる!!

陵何将軍

この龍緒の責任において密命を与える…

ははっ なんなりとお申し付けください

礼部尚書魚鳥木の謀反の件 明らかになった…！

よってそちは兵を率い奴の一族・郎党を捕らえ誅殺せい！

奴の領地にも軍を向かわせ成年男子は皆殺しに

女・子供は奴隷として売り払え！

街も畑も突き崩し塩をまくのだ！

我が南天に反旗を翻すとこうなるとの見せしめとせよ!!

はは―っ
では
ただちに…！

……

魚鳥木よ
許せ…!!

おまえの
非業の死…
利用させて
もらうぞ…!!

練・南蛮及び
八十一部族の
統一のため！

五丈の調略を
はねのけるために

姜子昌ーっ！

どこにいるーっ!!

と…殿!!

なにごとぞ
なにごとぞ…!!

姜子昌!!

な…なにぶん
将軍は病床の身…！

ご面会は
無理で
ございます"

殿!!

いたいた♪

と…殿
お静かに
お静かに
願います！

ドカ

いやはや…

まだ
意識は
もとらんのか!!

はあ
医者の申すところに
よりますと
心労が激しく
とてもお疲れのようで…

おまえ達
外へ出ていろ！

二人だけに
してくれ

はは…っ

姜子昌(しょうし)…

なんだ
おまえ
ずいぶんと
安らかな
顔してやがんな

もちっと
くやしそうな
顔してるかと
思ってたのによ

スー！

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

起きろ
言ってんのが
わかんねえのか!!
起きねえのなら
すぐに!!
昔のことって?
さあ…お二人は
いわゆる
竹馬の友ゆえ…
なんだとぉ〜〜っ!!
いてて!!
バリバリバリ
ほんとうんだなお
すぐに!!
姜子昌!!
イテテ

鶏駝族使節
大五丈王に
拝謁いたします！

鶏駝族使節
大五丈王に
拝謁いたします！

猟狨族使節
大五丈王に
拝謁いたします

蛟魔族使節
大五丈王に
拝謁いたします

竜王様
万歳

万歳！

万々歳!!

うむ

皆面を上げよ

立つがよい！

皆 朝貢のため
遠路はるばる
斉王都まで
よく来られた！
大儀である

して
どうだ
五丈は？

はっ お国が繁栄し
天下万民が
安らいでいるとは
お聞きして
おりましたが
これほどまでとは…

これも
陛下の人徳の
賜物で
ございましょう

ははは
そうか
そうか

さあ
皆に
酒を！

皆
共に
栄えようぞ！

光栄でございます！

陛下の武運長久不朽をお祝い申しあげます！

観い久ようよしぶりだな念したか？

バカ言え！今日は南天の使節を迎える大事な式典だから降りてきたんだよ！

しかしなんだおまえもあきらめ悪いなぁ

いやなものはいやだ！

夫婦ゲンカでどっちが勝つか部下と賭けしてんだぜ

もちろん俺は女房に賭けたけどな

あ――どいつもこいつも笑いもんにしやがって…！

……

あっ
御主人様
お帰りなさいませ

!!

いかがなされたのですか
ご自分の家に
忍び足とは…

しーっ!!

……

…であの女は？

奥方様なら…

ゴキッ!!

ちがうっつーの!!

たしか奥に…

ん？

なんだこりゃ？

は諸将百官よりの祝いの品でございます

あと三楽斎様より吉日を選んであるので身支度を整えるようにとのおおせで

こりゃまずい！冗談じゃすまされねえぜ早いとこ身の回りの物取ってきてトンズラだ！

スー！

ーーっと…

うぅ…ん…
はっ
こんな
バカナ女でも
ついてるモンは
ついてんだな

ズ…!!

ちくしょーっ!!

俺(おれ)は絶対(ぜったい)いやだからな!!

愛子真相"

おお
蹄庖ちょうど
いい所に来たな

ちょっと
こっちの書類を
見てくれるか

新設される
軍団の
部族別構成表
だが…

姜子昌様!!

あれだけ
医者に止められて
いるのに…!
大将軍のお身体は
大将軍だけの
ものでは
ないんですよ!!

もっと
養生
すべきです!!

返せ!
例え寝込んでも
軍務をおろそかには
できん!!

薬湯の
お時間です!!

あっ
こらっ!

あ——
わかった
わかった
少し休む

智に対しての
五丈の介入が
始まったようだな

菱子昌様
休んでください…

そう言うな
どっちにしろ
一人になったら
考えこんでしまう
話をさせろ

はい…
確かに…
そういう情報は
入ってきています

この度の
敗戦で我が南天の
智領の統制が
緩んでいる
そこにつけ入る気か…

竜王自らが
率いる本隊と
智より
一上将が率いる
軍勢で
我が南天に
攻め入る気だろう

はい…
兵数において
我が方が劣勢な今…
二面作戦を
取られると
厳しいですね…

うむ…
智への影響力
回復させねばな

彼女の立場は
正宗あくまでも個人の副将

今までは
存分に正宗の代理として
ふるえたのでしょうが…

身近に置いて
与彼女にお高い官位を
与えていません

許朝仇がそれが今となっては
議にも列席を
されていません

いまだ多智以前より
工作は進めて
ました
す親南天派に
る臣の

五討しかし映った度の敗目に
丈つたしの正宗をか…が
だのは

なに？

寵正宗の
愛の反動
だと思います

孤飛竜が会戦で生き残った
立っています
彰沖の開戦で
宮中で

後盾となる軍部も今や壊滅状態

ほぼ失脚状態です…

今思えば男だけの世界の中正宗と飛竜の主従は元々孤立していたのかもしれませんね

時代ですから…女の生きづらい

たしかになあ

女を捨てて男として生きるか…

たとえ愛情であっても男にすがって生きるか…

市井の女ならそれもよかったろうが…

蹄庖！

神楽は見つかったのか？

！

いえ…

未だ行方不明です…

そうか…

餃子の件 残念ですね

蹄庖!!

は…はいっ!!

現存保有艦艇リストを師団別に分けて持ってこい!!

はい

た…ただちに…

わ～～～ん 三日はかかりますよ～～～

女の生きづらい時代か…

どう乗り切るか…

飛竜!?…!!

諸大臣(しょだいじん)の方々(かたがた)におたずねいたします!

陛下(へいか)は御出御(ぎょしゅつぎょ)なされましたか!?

いや
陛下は
御気分が優れず
今日の御出御は
お取りやめ
なされた

もう
非道く
後宮に籠られた
ままだ……

き…聞くところによると
陛下は毎日毎夜
酒と女の日々とか…！

なぜ
だれもお諫めに
なさらないの
ですか!!

だまらっしゃい!!

そちどもごときが
何を無礼な!!
正宗公の
恩顧をよいことに
つけあがりおって！

"女"だてらに
朝政への
口出しは
許さん!!

女？

女だと
断言うことも
許されませんか…！

じっ…

い…
今は正宗様の
喪に服す時…!!

おぬし
陛下の悲しみが
わからぬのか!!

そうじゃ
そうじゃ!

…ったく
あれでよく
副将と…

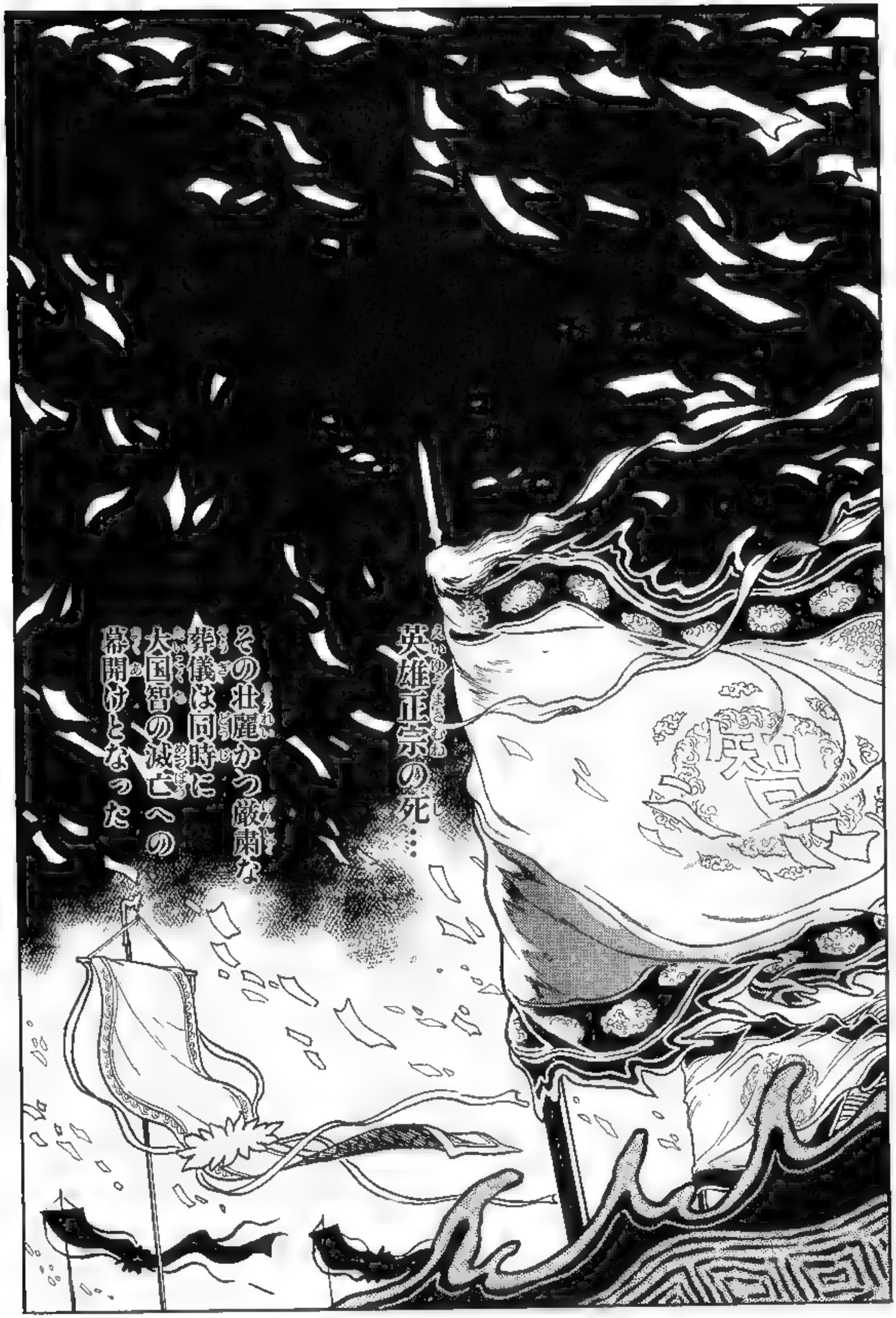
……

自分の主君を
むざむざと
敵に討たせた罪じゃ
所詮は…

…

正宗様の
孤独感…

今のわたしには
よくわかります…!


英雄正宗の死…
その壮麗かつ厳粛な
葬儀は同時に
大国智の滅亡への
幕開けとなった

悲願でもある
智領奪回も
頼みの正宗とその
軍勢を失った今
夢物語りとなり

絶望した家臣の
多くは
智王の亡命政府を捨て
五丈か南天の許に
降っていった

その動きは
重臣達にも
および
朝議にも
空席が
目立ち始めた

しかも
その朝議を
束ねる玉座には…

智王の
姿もなかったのである

紅孩士(こうがいし)陛下(へいか)にお目通(めどお)り賜(たまわ)ります

うぅぅ～～～い

何(なん)の用(よう)だ紅孩士(こうがいし)！

はっ
重臣一同が
興華殿にて
陛下の
ご出御を
待っております

ふん！
また
その話か〃

忠臣ヅラ
しおって…

連中の考えて
おることなど
わかっておるわ!!

連中はいつも
余を姉上と
見比べておる
〃

そして
余のことを
愚弟とか申して
嘲っておるのじゃ！

余は
いかぬぞ!!
やつらの
顔など
見たくない！

陛下

もう
お戯父上
陛下は
政治の話は
お嫌いなのよ

では
この話は
ここまでと
いたしましょう

皆には
わたしから
よしなに
伝えます

さぁ陛下お一つ…

嫌なことは忘れましょう

うむ

彩は優しいのう…おまえだけじゃ余のことを気遣ってくれるのは

陛下彩だけは陛下のお味方です

うんうん

余は政治も戦も嫌いじゃ

ふふ
これでよい

後はやつを
そそのかし
南天に突き出せば
すむことじゃ
羅侯様もわしを
大事に扱って
くれよう

おお
これは
典医殿

紅孩士様

陛下の
ご機嫌
うかがいで
ござるか

はは
陛下は
ただ今
お楽しみの
最中で
ござるよ

……

むう
この佞臣めが……

宦官の身分から
自分の養女を
陛下に近づけ
朝廷を専断するとは……
まさに獅子身中の虫……!!

重(おも)い…

ふう…

どうしたんだろ…

このごろやたらに鎧(よろい)が重(おも)い…

少(すこ)し…

やせた…？

ふふ…

いつ以来だろうな…

鎧を脱いで
桜の下に
寝転がるのは…

そう
座王都でだ…

あの時には
一時も鎧を
脱がないことを
正宗様に
笑われたなあ…

あの頃も
厳しい時代だった…

しかも
正宗様のお立場は
今のわたしなんかと
比べてずっと…

なのに…

あの方は
悠然と
笑っておられた…

そう
一人キリキリ
してても
視野が
狭くなるだけ

時には
フワッと
力を抜けって…
そう教えられたんだ

何(なに)やつ!?

ふふふ
さすがは
飛竜(ひりゅう)様(さま)…

拙者(せっしゃ)
南天(なんてん)の手(て)の者(もの)…

姜将軍(きょうしょうぐん)の
使者(ししゃ)として
参(まい)りました

これを…

な…

姜子昌(きょうしいしょう)の?

刺客(しかく)か!!

男共を
かき集めろ!!

戦える者
働ける者全て
南天に送れ!!

逆らう者は
容赦するな!!

こんな所に
隠れてやがったか!
さあ来い!!

ま…
待ってください!

その人を
連れて行かれたら
どうやって明日から
食べていけば
いいんですか!!

兵衛様

お内儀を
預きに参り
ました

この手紙…
雪子殿は
このあたしに
二君に仕えろと?

そうは申して
おりません
万が一そんな
ことを書けば
あなた様は
死んでも自分の
許には戻らないと
おっしゃって
おりました
なら
あたしに
武人を捨てよと
いうのだな

手紙にも
ありますように
今がその
勇期い
機会だと…

そう手紙にも…
相変わらず
右上がりの
クセ字でも
筆運びも
考え方も
少しも変わって
ないわね
私達時代と…

あなたは
そこらへんの
姜子昌から
聞いてる？

い…
いえ

あいつとは
私塾時代から
ライバル関係…

…てほどじゃ
ないけど
ケンカ友達よ

そりゃもう
ことごとく
意見が
合わなかった

おもしろい
ようにね…

互いに
少々天狗っ鼻に
なってただけに
始末におえなくてさ！

あいつの
口癖は
いつもこう

女に
何ができる!!

横っ面
張り倒して
やったことも
あったわ

し

のう扶華よ
最近身体が
疲れて困る…

余は
何かの病なのか

酒毒に
あたっているので
ございます

それゆえ
目まいが
治まりませぬ

何？
酒毒と…

何か
妙薬は
ないのか！

陛下
薬もさる
ことながら

お酒と遊びを
控えることが
何よりも
肝要かと…

陛下
お薬湯が
できましたわ

これを
飲んで
元気を出して
くださいませ

この薬は彩の家に代々伝わる妙薬にございまする

はい

しかしのう彩典医の申すところでは薬より酒を控えよと…

悲しゅうございます彩は陛下の御ためと思い懸命に尽して参りましたのに…

い…いやそちのせいではない断じてな

まあ！

それでは彩がいつも陛下のお相手をしたことが原因と…!!

なればそのようないいかげんな見立てをするこの藪医者を追い出してくだされ！

彩様はなぜそのようにそれがしを腐します

私は陛下のご健康を思い申したことえええまだ言うか陛下のお身体のことはわらわが一番よく知っておるのじゃ！

ふ…扶華

退がって

よいぞ

退がれ!!

それでは…

扶華殿！

おお 飛竜殿

薬箱を持って ご登城とは…… 陛下はお身体の調子が悪いのですか？

左様… 少々ご体調を崩されてまして…

やはり 酒と女の ご生活が…

いや… 原因は もっと奥深い所にあり ましょう

そう 〝心の病い〟 でしょうな

心の…？

名君正宗の 弟としての 重圧…

青年国王の胸中に 熱く燃える 理想と現実との 格差…

そして 今の乱れた 生活を何よりも 恥じています

恥じて
恥じて…
それでも
どうしようもない
もがきから
さらに酒に
お手をお染めに
なる…

悪い方
悪い方に
ご自分を
追いこんで
おしまいになる

そうか…

あっ
どうなされます
飛竜殿！

しれたこと
陛下に拝謁
賜る！

し…しかし
内宮には
何人たりとも
入れませぬ！

ま…ましてや
帯剣したままでは…
おやめください
罪を問われますぞ〃

むっ〃

お控えなされ！

これより内宮！
陛下のお許しなくば
通すわけには
参らぬぞ！

な…何事です
騒々しい！

陛下は
ご病気なの
ですよ！

そ…
それが
飛竜様が
ご乱心で…

ひえっ！

ひ…飛竜…

ぶ…無礼な〃家臣の分際で陛下の寝所に押しかけるとは…！

何様のつもりぞ！

ひっ…〃

お騒がせして申しわけありません

陛下に申し伝えたきことがあり参上いたしました！

申し伝えたいこと？

よいか…
もし智王に
天下の覇者となる
才あれば補佐して
五丈原に
挑むがいい…

だが…
もし
その器で
なかったなら…

五丈に
降るのだ…！

五丈に…

五丈に降れと…

そう結上は…

はい…

う…
城に決まっておる!!

五丈の竜王が
どうとか申したな!!
おぬし
竜王と図って
そんなでたらめを…!
正宗公を
討ったのは
五丈の竜王では
ないか!!

ヒュン!!

陛下!
まずは
権力を弄び
流言をまき散らす
彩姫父娘を
お斬りください!

あわわわ
か…
娘が…!

そして
病を押し
軍装を整え
全軍を巡視
いたしましょう！

正宗様の遺した
この国を率いるのは
陛下でございます!!

な…

さすがは
姉上…

独眼竜の
慧眼
まことに
恐れいった…

全てを
見抜いていたのだ…

自分の死んだ後の
ことも全て…

なにを
戯れ言を…!!

だれか
だれか
おらぬか!!
謀反じゃ!!

陛下…

ふふふ…

くくく…

陛下!!

ははは
かなわぬ
かなわぬわ!

余は
姉上には
逆立ちしても
かなわぬわ

陛下〜〜〜
お待ちになって〜

陛下ーっ!!

……

なに-
飛竜めが
そのようなことを…?

はい
お婆父様
そして
私をも殺そうと
したのです

むむっ！

よりによって
五丈に降れと…
それでは
これまでの苦労が
水の泡じゃ

今すぐにも
亡き者にして
やりたいが
仕損じては
やっかいよのう

おっ
そうじゃ
そうじゃ

この手が
あるわ

武人らしく
死に場所を
与えてやる！

勅命!!

衛将軍飛竜！
中郎将左先峰に
任じる!!

ただちに
軍を率い
南天軍から
智領を
奪回せよ!!

今智領で金角・銀角軍が略奪を欲しいがままにしておる！

必ずや二人を討ち取り陛下の御心を安らげるよう

はっ古来より兵は神速を尊ぶと申します

ただちに出陣いたします

飛竜殿！

事を荒だてたからにはこうなるとは思っていましたが今度の出陣は…

わかっています…

だが勅命は勅命…！

飛竜殿…

もう自分のことだけをお考えなされ…

飛竜殿はまだお若く才能もある

五丈と南天の決戦が近い今功を挙げ名をなしたい者はどちらかの国に集まりつつあります

見送りはここらでけっこうです

では扶華殿！

決して…

決して死に急いではなりませんぞ!!

飛竜殿!!

あたしに智を捨てろと…そう申されるのか

ここに至っては…

もし飛竜殿を失えば智もまた存在できますまい…

こうして飛竜は智の残存軍を率い智領を我が物顔に荒し回る

金角・銀角軍に挑んだ

自分を大切になされ!!

失精お開だが
彫の戦いに
全といおいて
かに飛竜の指揮
とはいえ
く南天軍に
たなかった

わはは!

それ
正宗子飼いの
女狐を生け捕りに
しろ!!

将軍
左右両翼共に
分断されました！

左後方より
新たな敵軍…！
持ちこたえ
られません

……

!!

な…
なんだ!!

五丈軍(ごじょうぐん)!?

なぜ
ここに
五丈原が…

ええい
ひるむな"
返り討ちだ"

ぐわっ"

突如
北の
丘の
上より
大軍
現れ
敵中
散々
に
撃ち
退却
し
頭を
失った
軍勢
は
総
崩れ

飛竜殿
竜王陛下の命にて
参りました

それがし
この軍団の大将
孟起と申します

竜王の命で？

はっ
陛下は御身の
平和のためにも
智と五丈の
連帯の必要性を
痛感なさっております

ぜひとも
智王にお会いして
お話がしたいと
申されています

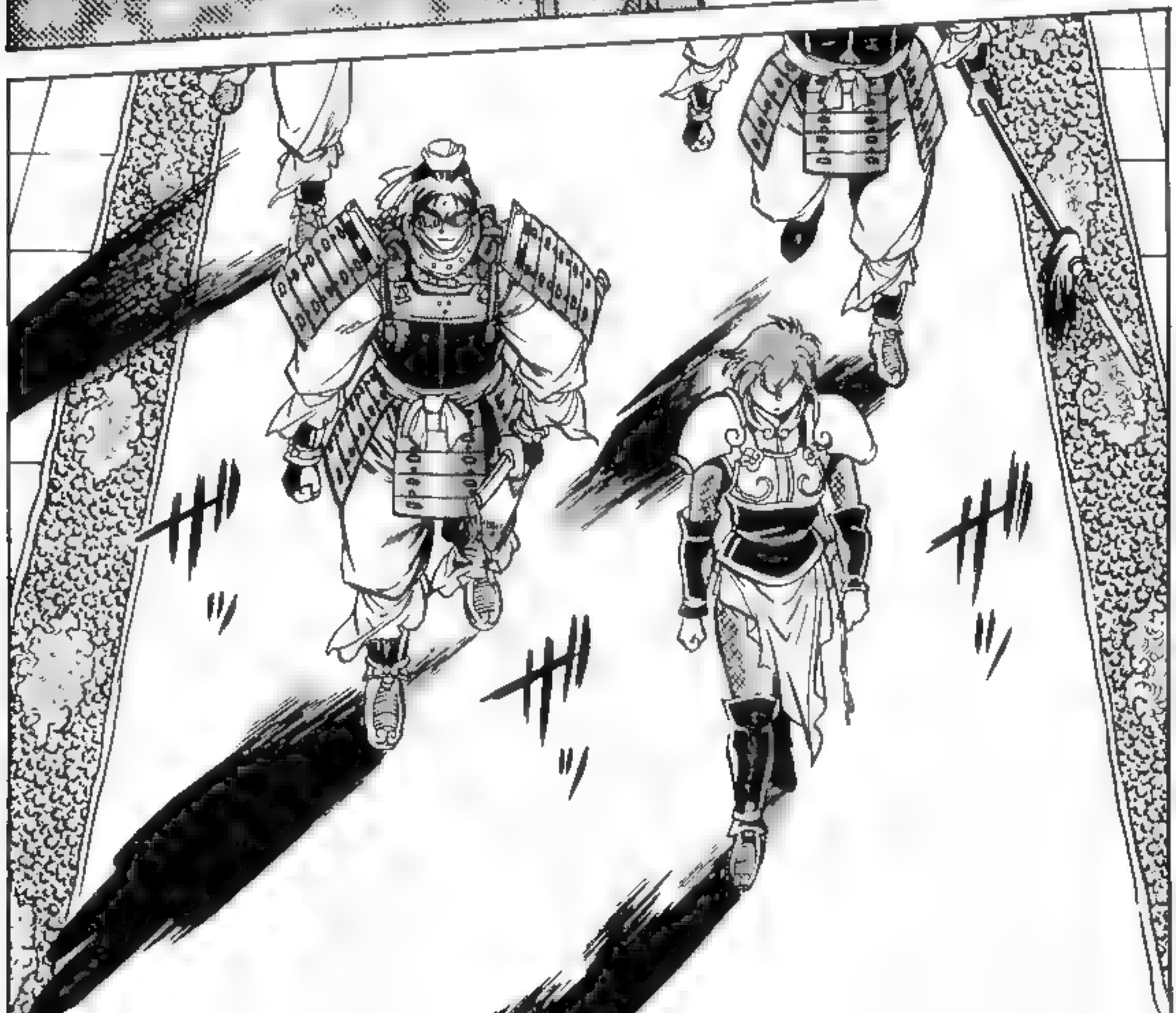
それでは竜王も智に参られると…

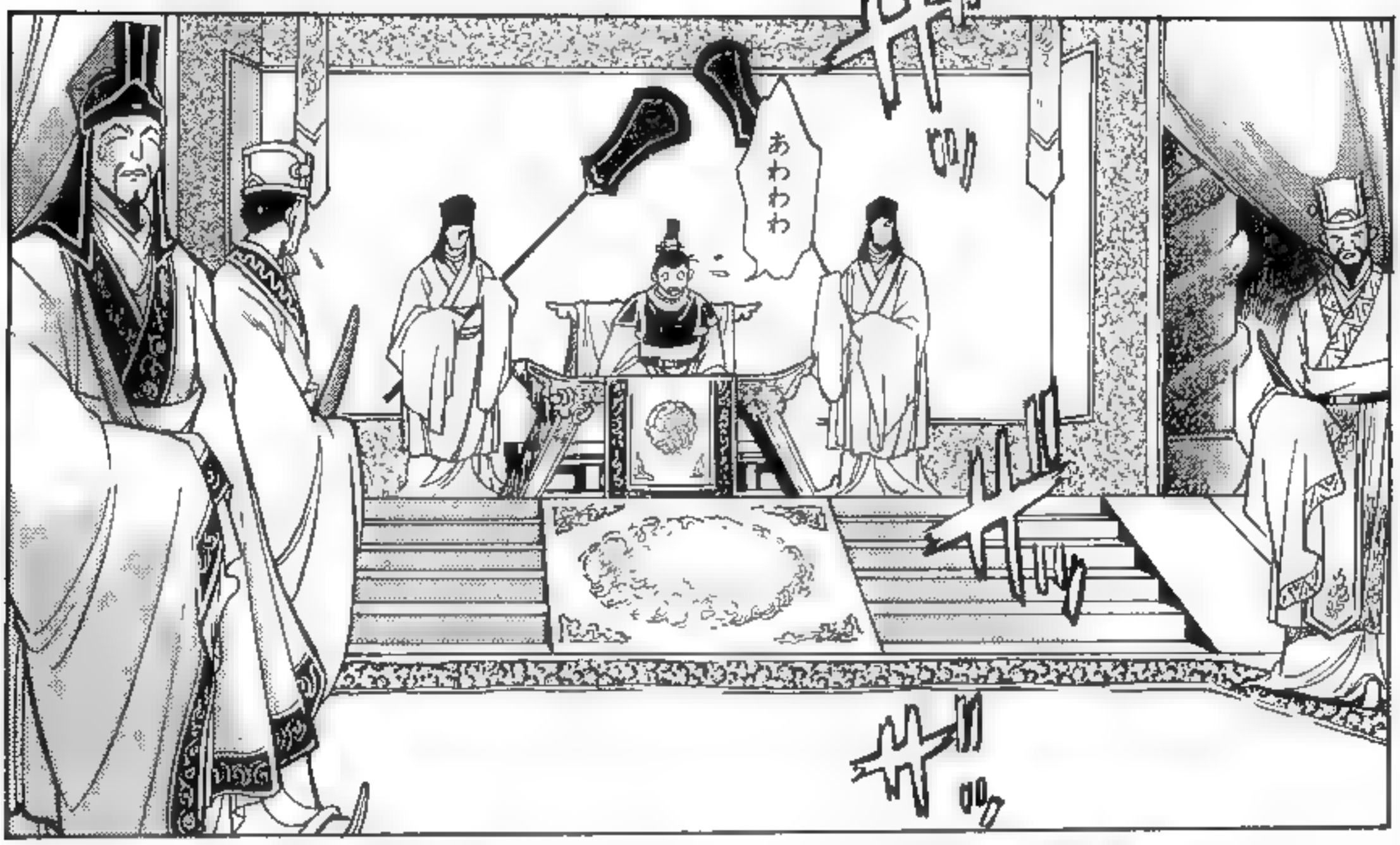
はい

まずは順序としてそれがしが露払いとして智王に拝謁したいと思います

ご案内願えますかな？

……




あわわわ

ひ…飛竜
これは何事じゃ…！
兵を…
五丈の兵を
連れて
宮殿に
乗りこむとは…！
申しわけ
ありません
陛下…
大五丈征東将軍
孟起
智王陛下に
拝謁いたします！

な…なんじゃ
五丈の将軍が
余に
何の用じゃ？
我が主君
竜王は
陛下との
ご会談を
望まれて
おります

智と五丈が
争ったのは
過去の不幸！

今は
銀河の民のために
両国が手を取り合い
互いの利害関係を
話し合いたいと
申されて…

い…いやじゃ!!

何を戯れ言を！
我が姉を討ったのは
他でもない
竜王その人ではないか!!

その竜王と
何を話せという!?
余を侮るにも
ほどがある！

!!

智王陛下
会談に
応じなされ!!

おおお…

智王陛下
会談に応じなされ!!

陛下…
すでにこの行在所は
五丈の大軍に包囲
されています
今は
応するより
手は
ございません
う…
よくぞ
ご決意
くだされ
ました！
両国が
よしみを
結べばこそ
天下は治まり
ましょう
よきに
はからえ…
会談場所は
旧智領と五丈国境の
陶谷関
完全に
五丈主体で
会談は進められた

さあさあ智王よこちらへ

…ああ

ふん物の役にも立ちそうもない男だな…

こんな奴のために正気は命を張ったのか…

さて俺は前口上や面倒臭いことが嫌いでな

単刀直入に申し上げる！

簡単な話だ智王の智領へのご帰還を我が五丈が後押しいたす

南天閣への送り迎えをして差しあげたい

なぜ…
五丈が
我が智のために
そこまで…

なーに
これも一つの
恩返しと思って
いただきたい
他意はござらん

恩返し？

そう
今俺が
あるのも
敵である
正宗公の
おかげだ

初めて戦場で
出会って以来
俺は常に
正宗公を追い求めた

手痛い
しっぺ返しも
散々食った
つまりは正宗公に
戦場で鍛えられ
たのだ

不幸にも正宗公を
俺が討ち倒す
ことになったが…

最後の最後まで
俺の師で
あったのだ

その師の一族が
苦境にあえいで
いるのに
助けぬ弟子が
あろうか

智王よ
これは
五丈だの智だの
という話では
別次元の話だ

さあ
共に参られよ！

智の民は皆
智王を
待ちかねておる

あ…
あの…

会談は
一方的であった

智王に
有無を言わせず

即日 陶谷関を
立った五丈軍は

即日

竜王の旗艦に
智の大将旗を
共に掲げ

怒濤の如く
智領に雪崩れ
こんだ

全土に
竜王万歳の声が
轟く中

智王の存在は
忘れられた
ものとなっていた…!!

一方
その智王は…

昔と…
昔と何も
変わっていない！

おお
おっ…！

見よ
この柱のキズ
これは余が
小さい時に
つけたのだ!!

姉上と…
姉上と共に
この喜びを
分かち合い
たかった…！

姉上〜〜〜

ただただ
悔しさに
感涙するのみで
あった

一方雷は
自分の重臣達を
要職に任じ
智の国政を
召し上げることに
成功

我に返った
智王が
五丈の正体に
気付いたのは
しばらくしての
ことだった

きゃあーっ！

こ……これ何事でござるか！！

だまれどけいっ！

竜王様のご命令だ〃

無礼者！五丈の兵が何しに参った〃

竜王様のご命令により南天との内通者、紅猿士父娘を捜しております〃

な……何！彩を……

何かの間違いじゃ！

きゃあああ！

いましたーっ！

陛下――っ〃

ハメル!

おおっ 彩(あや)!!

こやつらは南天(なんてん)と通(つう)じ さらに謀反(むほん)の主謀者(しゅぼうしゃ)でもござる!

余計(よけい)なことをなさらぬのが身(み)のためでござるぞ!

だ…だまれ! ここは余の城だ!!

勝手(かって)なことは余が許(ゆる)さん!!

待(ま)てと申(もう)すに…!!

ならば竜王陛下(りゅうおうへいか)にお掛(か)け合(あ)いなされ!

待て！

待って
くれーっ!!

よ…
余に味方するものは
おらぬのか!!

……

……

そうか…
誰一人
おらぬと
いうのだな…

陛下！

な…なんしゃ〃

またこの余から何か奪うつもりか〃

丞相もございません陛下の御心をお静めに参ったのてす

ええい！もうその手には乗らぬそ〃

何を並へ立てるつもりか！

陛下！

これもご時勢でございます

今や智王朝の力弱くして次の王の勢いに追われましょう

徳なき王は徳ある王に国を譲るが常道

今のお立場か全て陛下のご不徳によってではございませんがこれも天意によりその時期が来たとお考えなされ

なっ…〃

まさか
竜王は
この余に
位を譲れと……!!

そうなされば
陛下の御身に禍なく
子々孫々まで
五丈王朝の
おめぐみに
あずかることが
できましょう

ガガガ

な…
ならぬ
ならぬ!!

この智は
我が先祖が代々
多くの血を流して
三百年……!

それを
どうして軽々しく
捨てることが
できようか!!

なれば
どちらか
お選びくだされ

り…竜王は
どこにおる!?

会って
話がしたい!

それは
なりますまい

なぜじゃ!

竜王は余を
智の地に
もどしてくれると
約束したではない
か!

これも
智の民の
ためにて
ございます

無能な男を
王に抱くと
どれほど民が
難儀するか…

申しあげにくい
ことでは
ございますが
今の陛下に
智は治められません!

ぶ…
無礼な…!!
そちごときが
何を…!!

……

頼む……!!

竜王に…
竜王に
取り継いでくれ!!

これからは
心を入れ替える!

智のために
懸命に働こう!!

智のため？

お考え違いなさいますな智国はなくなったのですよって王位も存在いたしませぬ

これが…

これが竜王のやり方かハナっから智を乗っ取るつもりだったのしゃ〃

陶谷聞てはきれいごとをぬかしおって…〃何が思返ししゃ〃

陛下…もはやこの銀河にあなたのいる場所はありませぬ

残された道は自らの死て智の幕引きをなさることてす

てきぬと申されるなら我々が首をはねますそ〃

……

王族の者は
血を流しては
いけませぬ

これが
正宗の代
天下を窺うこともできた
大国智の最期であった
智は大五丈の版図の中に
永久に消滅したのである…

それは
弾丸
成し遂げられた
犯罪
なのだ

殺人の歴史
殺人の歴史
殺人の歴史

三十九話 修行の旅 四国編 完

Dengeki Comics EX

銀河戦国群雄伝ライ ⑲

1998年12月25日　初版発行

著者　真鍋譲治

発行者　佐藤辰男

発行所　株式会社メディアワークス　〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館
電話03-5281-5214(編集)

発売元　株式会社主婦の友社　〒101-8911 東京都千代田区神田駿河台2-9
電話03-5280-7550(営業)

装丁　朝倉哲也+design CREST

印刷・製本　共同印刷株式会社

©JOJI MANABE 1998

R本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

初出／月刊電撃コミックガオ！'98年4月号～7月号(メディアワークス刊)

ISBN4-07-310574-4 C0979

驕れる者も久しからず

これがおいらの覚悟(かくご)だ!!

死んで護国(ごこく)の鬼(おに)となろうぞ!

突撃(とつげき)じゃ!!

真鍋譲治

銀河に浮かぶ泡沫のごとし

銀河戦国群雄伝

Dengeki Comics EX

①〜⑲巻
大人気発売中

発行●メディアワークス
発売●主婦の友社

豪華連載陣!
銀河お嬢様伝説ユナ　原作／明貴美加
作画／いいづみ蜜
エルフを狩るモノたち　矢上裕
DARK EDGE　相川有
EAT-MAN　吉富昭仁　ほか

電撃コミック
ナヴィ!
毎月27日発売

発行●メディアワークス　発売●主婦の友社